

第 50 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 2 年 4 月 24 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第 50 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：令和 2 年 4 月 24 日 (木) 14:00~15:45

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長

小川幹雄 (国際渉外担当)

青野時彦 (総務担当)

中川堅司専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)

Web 出席理事：西奈美博副会長 (事業担当)

鈴木伸一、河瀬靖憲、西村岩夫、伊東正示、長谷川祥久

欠席理事：荻野均副会長 (財務担当)、崎山征雄 (コンプライアンス担当)

出席監事：間瀬勝一

欠席監事：尾澤輝行

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司 (事務局長)

有効理事総数 12 名、出席理事 10 名、欠席理事 2 名

出席率 83% 監事 1 名、事務局 (1 名)、計 10 名

議事録署名人 (書記) 青野時彦

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12 名中、10 名の出席、監事 1 名、事務局 (1 名) にて
本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長

2) 事業報告

西奈美博副会長

資料-1

3) 財務報告

中川堅司専務理事 (代理)

4) 総務報告

青野時彦理事

5) 国際協力報告

小川幹雄理事

6) コンプライアンス報告

中川堅司専務理事 (代理)

7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

8) 事務局報告

中川堅司専務理事

9) その他

4. 審議事項

第 1 号議案	令和元年度事業報告承認の件	資料-2
第 2 号議案	令和元年度収支決算報告承認の件	資料-3
第 3 号議案	令和 2 年度通常総会議事次第承認の件	資料-4
第 4 号議案	選挙管理委員会提出理事監事立候補リストの件	資料-5
第 5 号議案	令和 2 年度通常総会について	資料-6
第 6 号議案	神戸国際ステージサービス（株）賛助会員 A 入会の件	資料-7
第 7 号議案	正会員 C 近江哲朗氏 建築部会退部の件	資料-8
第 8 号議案	JATET フォーラム 2020 セミナーテーマについて	資料-9
第 9 号議案	JATET 誌 87&88（合併号）について	資料なし
第 10 号議案	ライティング・フェア 2021 への参画について	資料-10
第 11 号議案	第 26 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募について	資料-11
第 12 号議案	「世界劇場会議名古屋フォーラム 2020」の後援名義使用許可について	資料-12

5. その他

- 1) 第 51 回臨時理事会開催日程（5 月 27 日）について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が青野時彦氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 49 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 2 年 3 月 12 日（木） 14:00～ 第 46 回事業執行連絡委員会

令和 2 年 4 月 9 日（木） 14:00～ 第 47 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（各部会資料、資料-1）

各部会の活動について報告を行った。

報告詳細については各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・部会を 2 月 27 日、3 月 25 日に開催した。
- ・令和元年度事業報告及び決算書を提出した。
- ・「山形県総合芸術館見学会」を 3 月 17 日（火）に開催予定であったが、新型コロナウイルスによるイベントの自粛によって延期となり、オープン後 10 月以降の開催で再調整中。
- ・JATET ジャーナル 17 号「札幌文化芸術劇場」、JATET ジャーナル 18 号「フェニーチェ堺」を 3 月に発行した。
- ・来年度の施設見学会開催候補として、高崎文化芸術館・御園座・渋谷公会堂・豊島芸術文化会館・柳川市民文化会館などを検討中。
- ・JATET ジャーナルによる施設紹介については、継続して作業を進めている。
- ・4 月の部会は新型コロナウイルス感染症の影響もあり見送りとし、今後メール案内にて開催日を検討する。

建築部会では、

- ・JATET 技術展 2019 セミナー「客席のり・デザイン」に関する協議内容を主に報告した。
- ・その他、前回から今回まで部会は未開催で、特に報告事項はない。

機構部会では、

- ・JATET フォーラム 2020 で発表するための駆動部研究会を立ち上げ、3 月 25 日に第 1 回目の会議を実施した。
- ・令和元年度の活動報告・決算書を提出した。ワイヤロープ劣化調査に関する費用 85,800 円が発生している。
- ・研究会の次回以降の予定は未定、4 月 15 日に予定していた部会も中止とした。

照明部会では、

- ・令和元年度の部会事業報告書を提出した。
- ・JATET-L 規格 17 項目の確認・改正が終了し、4 月に入ってからホームページ上の公開資料の更新が終了した。

音響部会では、

- ・2月20日に部会を開催し、各調査研究テーマの進捗を確認した。
- ・次年度の部会開催スケジュールを決定した。
- ・令和元年度の事業報告・決算書を提出した。アンケート用紙のコピー印刷代で、9,000円ほど費用が発生している。
- ・部会は4月17日に開催予定だったが、新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言が出たので延期することとなった。緊急事態宣言の期間が1カ月という事なので、5月15日に部会の開催を計画している。
- ・3月末で締め切った舞台連絡設備のアンケートについて、収集作業を始めている。

映像部会では、

- ・1月に部会を開催して以降は、部会活動は出来ていない状況である。今後はZoomなどのアプリを利用したWeb会議による部会開催を検討している。
- ・JATET誌86号について、色々な方に執筆いただき発行されたが、外部からの評価が良く、この機関誌を活用しながらJATETの活動を紹介していきたいと考えている。
- ・令和元年度の事業報告は提出済み。特に外に出ての研究活動が出来なかったこともあり、経費の支出はない。

広報部会では、

- ・JATETリーフレットをホームページに掲載した。
- ・4月20日に部会を開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になった。
- ・事業報告書は提出済み。経費の支出は特にない。

イ. JATET フォーラム 2020 について

(資料-1)

- ・令和2年3月26日(木)14:00～ 第5回JATETフォーラム2020実行委員会を開催した。
- ・開催概要として、普遍的な全体テーマに続くサブテーマについて意見交換を行い、「JATET30年の活動を踏まえ、10年後の劇場演出空間を模索する」とした。
- ・タイムスケジュールは、初日に基調講演として「JATET30年を振り返る」というタイトルで、今までのJATET誌資料などをまとめて報告することを考えている。基調講演後2部会、2日目に3部会、合計5部会のセミナーを開催する予定である。
- ・参加費については、学生は無料とする方向。
- ・各部会、10年後ということでセミナーの具体的な内容を検討している。
- ・フォーラムの開催概要について、後ほど審議に諮る。
- ・次回の実行委員会は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中ということで、現時点で日程は決まっていないが、5月6日以降に開催を予定し、チラシデザインや宣伝・広報活動について審議する予定。

ロ. JATET 誌について

- ・JATET誌は例年2号の発行をしているが、今年度はJATETフォーラムが12月に予定されていること、フォーラムに先立ち11月初旬にはJATET誌を発行することを計画している。また、今年度は役員改選年度でもあり、部会員の再登録を行う関係で、通常のように9月初旬頃に夏号を発行するのはエネルギー的に難しいということで、11月に発行するJATET誌を87&88号の合併号としたいと考えている。

・ JATET 誌 87&88 号 (合併号) について、後ほど審議に諮る

- 3) 財務報告 代理：中川堅司専務理事 (閲覧資料-財務報告)
毎月、荻野副会長、青野理事の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題なし。
2019 年度の会費は、正会員 01 名が未納となっているが、この 1 名は前年度で退会している。
4 月 1 日に尾澤会計事務所と決算を済ませており、後ほど令和元年度事業報告書・決算書の審議を諮る。
4 月 13 日に尾澤監事・間瀬監事に監査していただいた。監査報告書を閲覧した。
- 4) 総務報告 総務担当 青野時彦理事 (閲覧資料-事務局関連・請求書等)
JATET 事務局長契約更新について、引き続き中川事務局長と 1 年間契約を更新した。
新型コロナウイルス対策として、事務局の在宅勤務について、会長・副会長と相談し、4 月第 2 週は理事会や委員会会議準備のために出勤したが、4 月 13 日からの週は電話や郵便物への対応で 1 名ずつの出勤として、2 名は在宅勤務にて対応している。本日の理事会以降は、5 月の連休明けまで緊急事態宣言の期間中であり、出勤者 1 名体制を継続する予定。
- 5) 国際協力報告 国際渉外担当 小川幹雄理事 (閲覧資料なし)
OISTAT について、1 月にベルシンキで教育委員会と照明副委員会は開催されたが、その後新型コロナウイルスの影響で、6 月に開催予定だった建築委員会は中止になった。また秋に開催予定だった、研究調査委員会も 1 年延期となった。OISTAT のホームページには本部会長のメッセージが掲載されている。日本センターのほうでは、3 月 18 日に予定されていた OISTAT による理事会と「劇場用語トークの集い」は、これも新型コロナウイルスの影響により中止となった。500 ユーロの年会費は、海外送金が難しくなるという情報があったが、無事に送金できた。
KTL から JATET 総会への来日については、やはり新型コロナウイルスの影響で難しく、なくなると思われる。
また、KTL の劇場安全センター (TSC) から、日本舞台技術安全協会 (JASST) について情報を得たいとの件については、事務局で日本舞台技術安全協会へ訪問を考えていたが、新型コロナウイルスの影響に伴うイベントの中止などの状況に配慮して延期することを連絡した。
- 6) コンプライアンス報告 代理：中川堅司専務理事 (閲覧資料なし)
コンプライアンスに抵触するような事象は無い。
- 7) 規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事 (閲覧資料なし)
特に規定改訂に関する事項及び作業は無い。残っているのは照明関係の JATET マークに関する事だけになる。
改訂済のものは、昨年度中にホームページに掲載を終了した。現在 30 規定を掲載している。
- 8) 事務局報告 中川堅司専務理事
3 月 24 日に事業計画書・予算書の内閣府への申請・届出を完了し、受領通知が届いた。

イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 91 号（令和 2 年 2 月 26 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 92 号（令和 2 年 3 月 11 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 93 号（令和 2 年 3 月 18 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 94 号（令和 2 年 4 月 8 日発行）を閲覧
-
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について（周知依頼）が届いた。
 - ・当協会に関連するものとして、理事会・総会の開催についての案内などが届いた。
 - ・官民人材交流センターから、求人・求職者情報提供サービスの案内が届いた。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より

- ・「新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ」として、支援策パンフレットが公布され、経営相談窓口の開設、資金繰り支援、設備投資・販路開拓支援、経営環境の整備などについての案内が届いた。
- ・併せて、下請け等中小企業への取引上のしわ寄せを防止するため、親会社に配慮を求める要請文書として、「新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受ける下請等中小企業との取引に関する一層の配慮について」が発令されている。
- ・令和元年度「自殺対策強化月間における取組の要請」についての案内が届いた。
- ・「経済構造実態調査」に関する事前周知と広報のお願いについての案内が届いた。

総務省からは特に情報なし。

ハ. JATET ニュース発行について

- ・JATET ニュース第 216 号（令和 2 年 3 月 3 日配信）
- ・JATET ニュース第 217 号（令和 2 年 4 月 7 日配信）

・正会員に向けての選挙や総会の開催について、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言や自粛要請を受けて、会場が変更になる可能性や具体的な開催方法について検討中であることを知らせている。5 月 6 日の緊急事態宣言終結後に総会開催の詳細について決定したいと考えている。後ほど審議を諮る。

ニ. 会員情報

閲覧資料-会員情報

- ・正会員 C 近江 哲朗氏 建築部会退部（審議事項）
- ・正会員 A 三精工事サービス（株）登録内容変更
- ・正会員 A ヒビノアークス（株）登録内容変更
- ・正会員 A パナソニック（株）ライフソリューションズ社 登録内容変更
- ・正会員 A 丸茂電機（株）登録内容変更
- ・正会員 B （株）石本建築事務所 登録内容変更

その他、正会員 A 三精工事サービスより、新社屋落成・東京支店移転・役員変更の報告に関する案内が届いている。

ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

- ・OISTAT から「劇場用語トークの集い」は、延期との知らせが届いた。
- ・ニッセイ文化振興財団から「ニッセイ バックステージ賞」表彰候補者公募案内が届いた。
- ・3 月 3 日から 6 日に予定していた、LED NEXT STAGE 2020 の開催中止の案内が届いた。

・全国公立文化施設協会から定時総会・研究大会（愛知大会）を6月4日～5日に開催する旨の案内が届いていたが、4月21日に中止及び規模縮小、開催方法の変更などにより対応すると連絡があった。

- ・芸団協メールニュース：2/26（臨時号）～3/2（411）、3/16（412）、3/27（臨時号）
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：3/16（103号）
- ・全国公文協バリアフリー化推進プロジェクトメールマガジン：2/28（2号）
- ・全国公文協バリアフリー化推進プロジェクトメールマガジン：3/27（3号）

その他、協会誌・雑誌関係の資料を閲覧した。

へ. 書籍販売状況

閲覧資料-書籍販売状況

規格販売状況（別紙資料）

・令和元年度の書籍販売状況については、2019年から2020年3月末までの売り上げは375,100円となっている。

・主に、「吊物機構安全指針・同解説」、「床機構安全指針・同解説」、「劇場空間演出用照明設備更新のためのガイドライン」、「プロオーディオ音響技術 CD」、「音響設備動作特性の測定方法」等が売れた。

ト. 請求書情報

閲覧資料-請求書情報

佐川急便、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、ゼロックス、アスクール、古川商事などの請求関連を閲覧した。

チ. HPについて

閲覧資料-ホームページ解析資料

2月から3月にかけてのJATETホームページのアクセス解析状況の資料を閲覧した。2月は、5,049、3月は、4,814のアクセスがあり平均して5,000前後で推移している。音響部会のアンケート開始時がピークであった。JATET ニュース配信後に閲覧が増える傾向が見える。

リ. 事務局関連

閲覧資料-事務局関連

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・令和元年度の「事業計画書」「予算書」は内閣府に提出済み。
- ・各部会・事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第1号議案 令和元年度事業報告承認の件

資料-2

中川専務理事より第1号議案 令和元年度事業報告書について説明があった。
詳細は資料-2を参照。

鈴木理事からJATETマークについて、承認する過程を明確にするという話ではなかったと質問があり、中川専務理事より規定改定作業部会の中で、中断している状態だ。照明部会以外は採用しない方針で、照明部会を中心に、登録している方々と今後JATETマークを採用する方々について、対応の整理を考えていると発言があった。鈴木理事から引き続きの検討を要望された。

議案説明の後、審議に入り第1号議案 令和元年度事業報告の件、全員一致で可決承認された。

第2号議案 令和元年度収支決算報告承認の件

資料-3

中川専務理事より第2号議案について説明。

貸借対照表における資産の部では、前年度比で流動資産が84万増えたが、その他固定資産が20万減り、資産の合計は64万増となった。負債の部では、前年度比で43万6000円増え、正味財産合計は13,740,614円、負債及び正味財産の合計は14,651,375円となった。正味財産増減内訳表の経常増減の部、経常収益について、正会員A2社、賛助会員A1社、賛助会員B1社の入会があり、受取入会金は715,000円であった。会費収入は、正会員A22社、正会員B5社、正会員C32名、賛助会員A26社、賛助会員B34名、特別賛助会員10団体で、受取会費は16,520,000円となった。

事業収益については、JATET 演出空間技術展2019の開催で、展示会開催収益627万、セミナー参加費178万の収入があった。発刊物販売収益は45万、施設見学会(3施設)開催収益82万5000円、JATET 誌広告収益800万弱があり事業収益の合計は、17,288,604円で、会費収入を合わせた経常収益は34,711,342円であった。

経常費用の事業費は、部会費9万6000円、英国ABTTの安全規格の翻訳費21万6000円、技術展事業費(会場費・設営費)762万、セミナー開催費106万、JATET 誌85号・86号の発行費564万、JATET ジャーナル(2号)発行費・ホームページ運用費・JATET News 発行費は例年通りで、その他諸経費を含めた事業費の合計は27,606,088円だった。管理費は例年通りの内容で6,901,475円の支出であった。経常費用の合計は34,507,614円となり当期経常増減額は、プラス203,779円であった。正味財産期末残高は13,740,614円となっている。

財務諸表に対する注記として、特定資産については昨年度、特定費用準備金120万円を取り崩したが、同額を積み立てて、当期末残高は、370万となっている。

財産目録は、流動資産が約975万、固定資産が約490万で、資産合計は14,651,375円となり、負債額を引いた正味財産は13,740,614円となった。

収支相償について、公益目的事業費率は59.2%となり50%以上を確保している。遊休財産の保有制限についても適合している。

議案説明の後、審議に入り第2号議案 令和元年度収支報告の件、全員一致で可決承認された。

第3号議案 令和2年度通常総会議事次第承認の件

資料-4

中川専務理事より第3号議案について説明。

審議事項(定款第52条により)

- ・第1号議案 令和元年度事業報告承認の件
- ・第2号議案 令和元年度収支決算報告承認の件
- ・第3号議案 常勤役員の報酬年額の決定の件
- ・第4号議案～第18号議案 理事監事選出選挙

報告事項(定款第51条により)

- ・第1号報告 令和2年度事業計画の報告の件
- ・第2号報告 令和2年度収支予算の報告の件

議案説明の後、審議に入り第3号議案 令和2年度通常総会議事次第承認の件、全員一致で可決承認された。

第4号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補者リストの件
中川専務理事より第4号議案について説明。

資料-5

選挙管理委員会で承認された「令和2年度 理事監事立候補者名簿」について本日の理事会で審議 承認後、立候補者1名1議案として総計議案書に掲載されると議場に諮った。

議案説明の後、審議に入り第4号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補者リストの件、全員一致で可決承認された。

第5号議案 令和2年度通常総会について
中川専務理事より第5号議案について説明。

資料-6

政府から新型コロナウイルス感染症拡大に伴い発令された緊急事態宣言の期間が5月6日までとなっており、外出の自粛、企業への休業の要請、テレワークの推進が行われている中、5月27日に予定している通常総会の日時・場所・方法などについて審議が諮られた。当協会では、通常総会は毎事業年度終了3カ月以内に開催することが定められているので6月末までに開催することは可能だが、6月末までには内閣府への事業報告・事業決算報告が必要で、これらの報告は、総会で承認を受けたものであることが条件である。このことを踏まえ、JATETでは例年5月末に総会の日取りを設定している。総会の開催・日取り・場所は昨年11月の理事会で決議、承認は済んでいる。

内閣府から社員総会・理事会の開催について、やむを得ない事情により、当初予定していた時期に開催できない場合、その状況が解消された後、合理的な期間に開催すれば、今般の状況を斟酌して対応する。また、社員総会については、書面・電磁的方法による議決権の行使や議決権の代理行使、決議の省略の方法によっても開催できるとし、検討するよう知らせが届いている。

行政府への書類の提出については、やむを得ない事情により、事業計画書・収支予算書・財産目録・計算書類・事業報告などの提出が遅れる場合、今般の状況を斟酌して対応するとの書面も届いている。

4月9日の事業執行連絡委員会において、内閣府とやり取りして先延ばしするよりは、Webなどを活用しながら、社会的距離を十分取れる方法で考え、出来るだけ顔を合わせず総会を開催する方法を提案されている。

事務局の提案としては、日時は変更せず総会の場所をJATET会議室に変更し、正会員には議決権行使書、または委任状を提出していただき、理事並びに部会長にはJATET会議室またはWeb会議による総会への出席をお願いしたいと考えている。新型コロナウイルスへの対応として、JATET会議室に集まる人数は5~6名程度とし、出来るだけWebからの出席をお願いしたい。

議案説明の後、審議に入り第5号議案 令和2年度通常総会について、全員一致で可決承認された。

第6号議案 神戸国際ステージサービス(株)賛助会員A入会の件
中川専務理事より第6号議案について説明。

資料-7

令和2年3月20日付けで神戸国際ステージサービス(株)より賛助会員Aへの入会申込書が届いた。

神戸国際ステージサービス（株）は、神戸中心に施設の運営管理を主体に業務をしている会社である。

議案説明の後、審議に入り第6号議案 神戸国際ステージサービス（株）賛助会員A入会の件、全員一致で可決承認された。

第7号議案 正会員C 近江 哲朗氏 建築部会退部の件 資料-8
中川専務理事より第7号議案について説明。
4月8日付で退部届が提出された。

鈴木理事より、退会ではないのか、退会でなければどこの部会にも属さないのかと質問があった。

中川専務理事より、退会ではない。今後、他の部会に所属したいと申し入れがあれば対応したいと応答があった。

西村理事より、提出された退部届は、古い書式を使用していると指摘があり、新書式の周知がされていないのではと発言があった。

議案説明の後、審議に入り第7号議案 正会員C 近江 哲朗氏 建築部会退部の件、全員一致で可決承認された。

第8号議案 JATET フォーラム 2020 セミナーテーマについて 資料-9
中川専務理事より第8号議案について説明。

セミナーテーマ「演出空間における舞台技術の現状と展望」を普遍的なテーマとし、実行委員会からサブテーマとして「JATET30周年の活動を踏まえ、10年後の劇場演出空間を模索する」が提案された。

以下、各部会のセミナーテーマ

- ・建築部会「渋谷の2劇場における演劇制作のこれまでと今後の展望」
- ・機構部会「舞台機構の駆動系の変遷と将来への展望」
- ・照明部会「最新照明卓の機能と将来への展望」
- ・音響部会「舞台連絡設備の現状と将来への展望」
- ・映像部会「最新ネットワーク技術の活用事例と今後の展望」

鈴木理事より、新型コロナウイルスの影響で劇場や関係者が大変なことになっている。JATETとして何らかの取り上げ方・提案が出来ないかと提案があった。

森会長より、この状況がどこで落ち着くか見えてこない、この提案は今結論を出すことは出来ないので、可能であればセミナーテーマにプラス出来るかもしれないという条件で審議を諮った。

議案説明の後、審議に入り第8号議案 JATET フォーラム 2020 セミナーテーマについて、全員一致で可決承認された。

第9号議案 JATET 誌 87&88号について 資料なし
中川専務理事より第9号議案について説明。

JATET 誌は例年 2 号を発行している。12 月開催予定の JATET フォーラムに先立ち 11 月初旬に発行を計画している。今年度は、役員改選・部会員の再登録がある関係で 9 月初旬の発行は難しい。11 月発行の JATET 誌は 87&88 号の合併号としたい。

議案説明の後、審議に入り第 9 号議案 JATET 誌 87&88 合併号について、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 ライティング フェア 2021 への参画について 資料-10
中川専務理事より第 10 号議案について説明。

2 月末に一般社団法人日本照明工業会からライティング フェア 2021 への参画依頼があった。JATET の活動を知らしめるに効果があると考えている。主催は一般社団法人日本照明工業会と日本経済新聞社。展示コマの金額などは今後の打ち合わせになるが、JATET 技術展に出展されている企業に参加を募りたい。

議案説明の後、審議に入り第 10 号議案 ライティング フェア 2021 への参画について、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 第 26 回「ニッセイ バックスステージ賞」表彰候補者の公募について 資料-11
中川専務理事より第 11 号議案について説明。

例年の推薦依頼で推薦者を出すか推薦者なしで回答するか審議を諮った。

議案説明の後、審議に入り第 11 号議案 第 26 回「ニッセイ バックスステージ賞」表彰候補者の公募について今年度は推薦者なしと回答することが、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 「世界劇場会議名古屋フォーラム 2020」後援名義使用許可について 資料-12
中川専務理事より第 12 号議案について説明。

4 月 15 日付で申請書が届いた。例年後援名義使用許可を出している。

議案説明の後、審議に入り第 12 号議案 「世界劇場会議名古屋フォーラム 2020」後援名義使用許可について、名義の使用を許可することが全員一致で可決承認された。




その他

- 1) 第 51 回臨時理事会開催日程 について
第 51 回臨時理事会は、令和 2 年 5 月 27 日（水）の総会終了後、16 時から開催予定とする。
- 2) 閉会
15 時 45 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

令和2年4月24日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第50回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	尾 澤	印
監事（間瀬勝一）	間瀬 勝一	
議事録作成署名人（青野時彦）	青野 時彦	

第51回 臨時理事会

議事録（正）

令和2年5月27日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

1. 開催日時及び場所

日 時：令和2年5月27日（水）16：30～17：24

場 所：JATET 事務局

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL : 03-5289-8858

2. 出席理事数及び出席者氏名

出席理事数：12名（理事総数13名）

会場出席8名、WEB出席4名

欠席理事数：1名

欠席監事数：2名（臨時理事会開催、議事に同意確認済み）

出席理事名：荻野 均、青野 時彦、永井 烈、森 健輔、

伊東 邦比古、小川 幹雄、中川 堅司、西 豊彦 以上8名会場出席

宮丸 正人、西村 岩夫、伊東 正示、長谷川 祥久 以上4名WEB出席

欠席理事名：崎山 征雄

欠席監事名：尾澤 輝行、間瀬 勝一

3. 議事次第

1) 開会

2) 議長選出

3) 議事録記録署名人選出

4) 議事

第1号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定

会長（代表理事） 森 健輔 氏 森平舞台機構株式会社/代表取締役

副会長（第1） 青野 時彦 氏 株式会社東京舞台照明/常務取締役

副会長（第2） 荻野 均 氏 三精テクノロジーズ株式会社/顧問

副会長（第3） 永井 烈 氏 丸茂電機株式会社/取締役営業部長

専務理事 中川 堅司 氏 音響（エヌ・ケー・サウンドラボ）

5) 閉会

4. 議事の経過の概要とその結果

1) 開会

役職理事が決定していないため、事務局員の望月が開催の確認をした。

全員異議なし

審議に先立ち、定款第41条（招集）について確認をした。

定款第41条（招集）

2) 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的記録により、開催日の1週間前までに通知しなければならない。

5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく理事会を開催することができる。

この理事会は、選挙に先立ち、理事、監事立候補者の全員より、当選後は臨時理事会に出席することを承諾済である。

当協会の定款第 43 条（定足数） 「理事会は、理事の過半数以上の出席をもって成立する。」の規定に従い定足数を確認した。

理事構成員 13 名中、出席 12 名、欠席 1 名で過半数の出席を確認した。欠席監事は 2 名。以上により、本日の第 51 回臨時理事会の成立を宣言した。

2) 議長選出

定款第 42 条（議長）で「理事会の議長は、会長がこれにあたる。」と定められているが、役職理事が決定していない。

理事会運営規程で、

第 6 条（理事会の議長）

3 理事全員改選直後の理事会における議長は、出席した理事の中から互選された者がこれに当たる。と定められているので、当日選出された新役員の内から議長の選出をした。

前会長である森 健輔氏に議長をお願いする案を事務局から提案し全員一致で可決承認され、森 健輔氏を議長に選出。

3) 議事録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い、議事録記録署名人 1 名の選出を行った。

伊東 邦比古理事に議事録記録と署名人をお願いした。

（伊東 邦比古理事に、了承の意思を確認）

4) 議案の審議

<第 1 号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定>

定款第 27 条（選任）

2 代表理事、副会長、専務理事及び専門の業務担当理事は理事会において選任する。と定めており、この臨時理事会にて直ちに役職理事を決定する必要がある。

従来、役職理事については選挙の立候補届を受けた後の理事会で役職理事候補を推薦してから総会後の臨時理事会に諮るのが通例だが、今回はコロナ禍の中で推薦が遅れたため、前会長、副会長、専務理事の中で検討した。その結果、次の 5 名を役職理事として推薦する。

会長（代表理事）	森 健輔氏	森平舞台機構株式会社/代表取締役
副会長（第 1）	青野 時彦氏	株式会社東京舞台照明/常務取締役
副会長（第 2）	荻野 均氏	三精テクノロジーズ株式会社/顧問
副会長（第 3）	永井 烈氏	丸茂電機株式会社/取締役営業部長

専務理事 中川 堅司氏 音響 (エヌ・ケー・サウンドラボ)

副会長の順位は、

第8条 (副会長)

(2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって会長の業務執行に係る職務を代行する。

と定められており、副会長がその順位に従い会長の職務を代行する。

代表理事、副会長、専務理事の選任について決議を行い全員一致にて可決承認された。

定款第26条 (種類及び定数)

3 本会の会長を代表理事とし、副会長、専務理事に加え、専門の業務担当理事の3人を限度として、「一般社団・財団法人法」第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とする。と定められている。

現状の理事立候補者の名簿を基に、前副会長及び事務局長と相談し、次の提案を行った。

理事の職務権限規程

第7条 (会長)

(1) 代表理事として本会を代表し、その業務を統括し執行する。

と定められているため、

統括責任者 森 健輔 (モリ ケンスケ) 会長の担当とする。

第8条 (副会長)

(1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。

と定められているため、事業担当、財務担当は下記のように選任した。

事業担当 青野 時彦 (アオノ トキヒコ) 副会長

前期は総務を担当していたが、今期より JATET フォーラムなどの事業を担当とする。

財務担当 荻野 均 (オギノ ヒトシ) 副会長

前期と同様、引き続き財務を担当とする。

総務担当 永井 烈 (ナガイ レツ) 副会長

今期からの理事就任だが、総務担当とする。

永井氏には前執行部からの推薦として、事務局から打診をした。

第9条 (専務理事)

(1) 事務局を統括するとともに、会長及び副会長を補佐し、本会の業務を執行する。と定められているので、

事務局統括 国内渉外担当 中川 堅司 (ナカガワ ケンジ) 専務理事
が前期から引き続き担当をする。

次に定款第26条の定めにより、専門の業務担当理事として、国際渉外担当、コンプライアンス担当、規程改訂作業部会担当の3名を選任した。

国際渉外担当 小川 幹雄 理事

国際渉外担当は、OISTAT 及び KTL との関係があり、OISTAT 副会長でもあることから、

前期に続き、国際交流をより活性化していきたい観点により人選を行った。

コンプライアンス担当 西 豊彦 理事

新たに理事に就任したが、コンプライアンス担当理事をお願いした。

前執行部からの推薦として、事務局から打診をした。

規程改訂作業部会担当

規程改訂作業部会担当 中川 堅司 専務理事

残りの規程類もわずかではあるが、各種規程については常に見直しが必要でもあること、併せて定款の見直しも今後必要になりため、引き続き中川専務理事をお願いをした。

業務執行担当理事について決議を行い、推薦内容の通りで、全員一致にて可決承認された。

6月の事業執行連絡委員会の日程を決定した。

6月10日 水曜日 14:00～

顧問選出について審議を行った。

定款第35条（顧問及び参与）

2 顧問及び参与は、学識経験者又は本会に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、会長が委嘱する。と定められている。これに基づき、引き続き前顧問の高田一郎氏に就任打診を考えたが、高田氏は病氣療養中のため、今期は顧問はなしとして、先生が回復されたのち、改めて顧問の就任を考える。

全員一致にて可決承認されたので、今期の顧問は不在とする。

本日予定していた審議事項は、第1号議案として代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定についてのみだったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けて、理事の方々に事務局から相談があり、中川事務局長が説明をした。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言は5月25日に解除されたが、政府、東京からの外出自粛、イベントの中止、延期、規模縮小などの要請により、当協会の会員の中にも事業の継続に大きな影響を受けている方が多くいると思われる。

5月14日に、劇場施設、イベント開催に係る団体が参加している緊急事態舞台芸術ネットワークのホームページが開設され、全国公立文化施設協会からも「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」が発行されている。JATETとしても、協会の会員の皆様に対して何らかの支援策を提供することが必要ではないかと思い、この理事会で相談をさせていただきたい。現状では、緊急事態舞台芸術ネットワークへの賛同と併せて協会の会費納入期限の猶予や、政府、関連機関からの事業継続、雇用支援などの情報を提供することを考えているところではあるが、理事の皆様からの提案や、皆様の置かれている状況や JATET として行うべき内容があればお聞かせ願いたい。（中川）

緊急事態舞台芸術ネットワークには賛同した方が良いのではないかと。会員の関係者にも参加しているものがある。大きな力になればと思う。(森)

協会としては、政府関係からの補助金などに関する最新情報の収集及び発信の方で支援をしていきたい。(中川)

本日政府が芸術関係支援を発表したが具体的な内容がまだよく見えない。

協会としての発信が非常に重要だと思う。当協会が芸術関係支援に賛同をしているという姿勢が大事である。緊急事態舞台芸術ネットワークもだが、それ以外の演劇支援プロジェクトなど他の支援情報も合わせて、当協会のHPにリンクすることはできないか。(市来)

その都度協会に情報を寄せて貰えれば対応をしていきたい(森)

今の状況を考えると、3密の中に劇場・音楽堂・ホールが入るのは本当なのか？スタンディングライブハウスや飲酒を伴うライブハウスとは違って、客席に着いて一方向を向いての鑑賞とは異なるのではないかと。ライブハウスなどに比べて安全だということをアピールする必要があるのではないかと。もちろんホワイエの飲食や歓談は制限する必要があるが、他は安全だとアピールできるのではないかと考える。

もう一つは建築的なもので、換気など空気環境を改善すれば安全になるのではないかと。建築部会の議論としてなりたつのではないかと。

また野外での開催だったら安全ではないのか、大人数のイベントでもできるのではないかと。

今までは当協会の対象は実体がある劇場や音楽堂であったが、既に音響や映像の世界では遠隔の鑑賞の体系ができていますので、バーチャルの劇場も研究のテーマとして考える必要があるのではないかと。(西)

西氏の提案された内容に関して、建築部会で扱うべきテーマがたくさんあるように思う。課題を整理し情報共有していきたいと思う。(長谷川)

劇場の空調については、吹き出し位置とウィルス拡散の関係、全体空調と個別空調、換気の機能と回数などの諸問題について、建築関連の立場からの提言を検討出来れば良いと考える。

(西、長谷川)

現在各劇場にて様々な実験及びデータ集計が進行中である。6月に劇場が再開され、実際のデータが集計され、それが共有されるようになると分析も多方面から進み、今後の方針が見えてくるのではないかと。そのような動きを注視しながら今後は早い対応が求められると考える。

(小川)

JATET として最新情報を収集し会員様には情報発信をすること、専門的な分野は各部会にお任せをし、追ってできるところから各支援プロジェクトの支援表明をしていきたいと思う。

(中川)

本日の審議事項は以上とする。

次回の第 52 回定例理事会の日程を下記日時に決定をした。

第 52 回定例理事会 8 月 28 日 金曜日 14 時～ JATET 会議室にて開催













5) 閉会

17 時 24 分 中川事務局長が閉会を宣言し終了した。

令和2年5月27日

上記議事録を明確にする為、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名押印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第51回臨時理事会

役職	署名	捺印
荻野 均 理事	荻野 均	
青野 時彦 理事	青野 時彦	
宮丸 正人 理事	宮丸 正人	
崎山 征雄 理事(欠席届-同意書有)		印
永井 烈 理事	永井 烈	
森 健輔 理事	森 健輔	
西村 岩夫 理事	西村 岩夫	
伊東 正示 理事	伊東 正示	
伊東 邦比古 理事	伊東 邦比古	
小川 幹雄 理事	小川 幹雄	
中川 堅司 理事	中川 堅司	
西 豊彦 理事	西 豊彦	
長谷川 祥久 理事	長谷川 祥久	
尾澤 輝行 監事(欠席届-同意書有)		印
間瀬 勝一 監事(欠席届-同意書有)		印

第 52 回 定例理事会

議 事 録

令和 2 年 8 月 28 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

第 52 回 定例理事会 議事録

日 時：令和 2 年 8 月 28 日 (金) 14:00～15:22

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3 - 8 - 6 第一古川ビル TEL：03-5289-8858

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録作成署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | | |
|---------------|----------|------|
| 1) 業務報告 | 森健輔会長 | |
| 2) 事業報告 | 青野時彦副会長 | 資料-1 |
| 3) 財務報告 | 荻野均副会長 | |
| 4) 総務報告 | 永井烈副会長 | |
| 5) 国際協力報告 | 小川幹雄理事 | |
| 6) コンプライアンス報告 | 西豊彦理事 | |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事 | |
| 8) 事務局報告 | 中川堅司専務理事 | |
| 9) その他 | | |

4. 審議事項

- | | | |
|---------|-----------------------------------|------|
| 第 1 号議案 | JATET フォーラム 2020 開催方式およびセミナーテーマの件 | 資料-2 |
| 第 2 号議案 | JATET 部会参加申込、退部届承認の件 | 資料-3 |
| 第 3 号議案 | 賛助会員 A ボーズ合同会社 退会の件 | 資料-4 |
| 第 4 号議案 | 賛助会員 B 斎藤 義 (さいとう ただし) 氏 退会の件 | 資料-5 |
| 第 5 号議案 | 今岡 隆 (いまおか たかし) 氏 賛助会員 B 入会の件 | 資料-6 |
| 第 6 号議案 | Inter BEE 2020 協力名義使用許可について | 資料-7 |

5. その他

- 1) 第 53 回定例理事会開催日程 (11 月)、
第 54 回定例理事会開催日程 (2 月) について
- 2) 閉会

開会 : 開会の辞 中川専務理事

出席理事：森健輔会長

青野時彦副会長（事業担当）

荻野均副会長（財務担当）

永井烈副会長（総務担当）

中川堅司専務理事（事務局統括、国内渉外担当、規程改訂作業部会担当）

西豊彦理事（コンプライアンス担当）

Web 出席理事：小川幹雄理事（国際渉外担当）

伊東邦比古理事、伊東正示理事、西村岩夫理事、宮丸正人理事

欠席理事：崎山征雄理事、長谷川祥久理事

欠席監事：尾澤輝行監事、間瀬勝一監事

有効理事総数 13名、出席理事 11名、欠席理事 2名

出席率 84%

定足数確認：有効理事総数 13名中、11名の出席にて
本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録作成署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が小川幹雄氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長

下記の通り、第 50 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 2 年 5 月 12 日（火） 14:00～ 第 48 回事業執行連絡委員会

令和 2 年 6 月 10 日（水） 14:00～ 第 49 回事業執行連絡委員会

令和 2 年 7 月 16 日（木） 14:00～ 第 50 回事業執行連絡委員会

令和 2 年 8 月 20 日（木） 14:00～ 第 51 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

青野時彦副会長（事業報告資料、資料-1、各部会資料）

教育研修部会では、

・「山形県総合文化芸術館」見学会の開催方法について部会内で意見交換を実施した。
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い「延期」とし、オープン後 10 月以降の休館日の開催で再調整して進める。

建築部会では、

・ JATET フォーラム 2020 セミナーのテーマについては、セミナー開催時点での新型コロナウイルス感染情報に合せて、各団体発行のガイドラインを集約、また上演各団体の空調関係の対策等をまとめる方向で検討している。

機構部会では、

・ JATET フォーラム 2020 セミナーの内容として、駆動部研究会の発表を進めているが、

12月のフォーラムでは時間的に余裕がないため、来年度の技術展セミナーでの発表を目指して進めて行く。

照明部会では、

- ・今期の事業内容の進め方について協議した。
- ・全照協から発行された舞台のためのガイドラインを配布した。
- ・今後は JATET マーク規格の進め方を検討して行く。

音響部会では、

- ・ JATET フォーラム 2020 セミナー内容について、当初予定通りの舞台連絡設備のアンケート調査報告を主に取り上げる。
- ・ 電源関連について、研究テーマが止まっている状況が、メンバーでメールのやり取り、WEB ミーティングで研究を進めて行く。劣化診断については、参加メンバーを決めて検討を進めて行く。
- ・ 舞台連絡設備のアンケートについては、最終のアンケートを集計中である。
- ・ 新型コロナウイルス感染予防に関するガイドブックを安全手帳の形で JATET のホームページに掲載し、都度更新している。
- ・ 7/30日に、(公社)日本舞台音響家協会主催で東京芸術劇場にて「コロナ対策で新しく生まれる舞台音響の要素」のセミナーが開催され、西村音響部会長が講師として登壇した。

映像部会では、

- ・ JATET フォーラム 2020 セミナーについて、長年にわたり劇場の中で積み重ねられてきた映像システムの変遷を知ると共に、これからの劇場の役割を考える上で必要となる映像システムやネットワークについて、将来を展望したプレゼンテーションや議論の場となるセッションを企画予定である。

広報部会では、

- ・ 部会長は、古橋部会長が退任し、西新部会長が就くことになった。
- ・ JATET リーフレットの改訂作業および同リーフレットの英文化作業をできるところから進めて行く。

イ. JATET フォーラム 2020 について

- ・ 令和2年6月26日(金)14:00～ 第6回 JATET フォーラム 2020 実行委員会を開催した。
- ・ 令和2年7月21日(火)14:00～ 第7回 JATET フォーラム 2020 実行委員会を開催した。
- ・ 令和2年8月26日(水)14:00～ 第8回 JATET フォーラム 2020 実行委員会を開催した。
- ・ 13 団体に共催・協力・後援依頼を提出した。本日現在で 11 団体から承認の連絡を頂いている。
- ・ セミナーテーマについては、30周年記念として一度理事会で承認を受けているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた、劇場演出空間技術面からの提言などの内容を盛り込む案が出て見直している。各部会でも、コロナ禍に関係する内容の追加を含めてセミナー内容を見直し、変更の案が出ている。
- ・ 開催予定の渋谷区大和田伝承ホールより、350 席の内 149 席以下を客席定員数とする利用ガイドラインが来ている。
- ・ インターネット回線について、劇場に設備された 1 回あたり使用料 35,000 円の回線を使用する方向で進めている。
- ・ 実行委員会として7月2日に、渋谷区文化総合センター大和田伝承ホールの会場見学を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う JATET フォーラムの開催方式については、一昨日の実

行委員会で議論を進め、一定の開催方針が出ている。フォーラムの開催方式とセミナーテーマについては、後ほどご審議をお願いする。(審議事項)

ロ. JATET誌87&88号(合併号)について

- * JATET誌は例年2号の発行をしているが、今年度はJATETフォーラムが12月に予定され、フォーラムに先立ち11月初旬にJATET誌を発行することを計画している。
- 今年度は役員改選年度だったので、部会員の再登録を行う関係で通常のように9月初旬頃に夏号を発行するのはエネルギー的に難しいということで、11月に発行するJATET誌を87&88号の合併号とした。
- 広告掲載依頼書は既に発送済み。現在13社の申し込みを頂いている。

- 3) 財務報告 荻野均副会長(閲覧資料なし)
- ・ 毎月、荻野副会長、永井副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題なし。
 - ・ 5月18日に令和2年度会員会費請求書を発行し、当初支払い期限を7月31日までとしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大影響のため11月30日までに支払期限を延長した。

- 4) 総務報告 総務担当 永井烈副会長(閲覧資料-事務局関連・請求書等)
- ・ 事務局事務所賃借契約を2年更新し再契約料を支払済み。

- 5) 国際協力報告 国際渉外担当 小川幹雄理事(閲覧資料なし)
- ・ 8月に韓国ソウルで予定されていたアジア劇場安全協議会(AESA)年次会議はソウルにおける新型コロナウイルス感染症第2派流行により2021年に延期となった。
 - ・ OISTATについては2021年にカルガリーで開催が予定されていた4年に1度のワールド・ステージ・デザイン(WSD)が2022年に延期となった。

- 6) コンプライアンス報告 西豊彦理事(閲覧資料なし)
- ・ 報告事項なし

- 7) 規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事(閲覧資料なし)
- ・ 報告事項なし

- 8) 事務局報告 中川堅司専務理事
- イ. 内閣府情報 閲覧資料-内閣府情報

- ・ 6月17日に「理事変更の届出」、6月26日に「令和元年度事業報告書、決算書」を内閣府への申請・届出完了。
 - ・ 内閣府 公益法人メールマガジン 臨時号(令和2年4月27日発行)、第96号(令和2年5月13日発行)、第97号(令和2年5月27日発行)、第98号(令和2年6月10日発行)、第99号(令和2年6月24日発行)、第100号(令和2年7月8日発行)、第101号(令和2年7月22日発行)、第102号(令和2年8月5日発行)、第103号(令和2年8月19日発行)を閲覧した。
- 主な内容は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う公益法人の運営に関するお知らせ、内閣府からのお知らせとして新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針、新しい生活様式の実践例などが示されている。
- 6月には、内閣府公益認定等委員会事務局職員のテレワーク・時差出勤のお知らせ、新型コロナウイルス感染症対策に関する各種の支援策、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のリリースについて連絡が来ている。

ロ. 経済産業省情報&総務省

閲覧資料-経済産業省情報&総務省

経済産業省コンテンツ産業課より、

- ・新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者を活用いただける支援策について周知依頼が届いた。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)、公共交通機関を利用する際の感染予防対策について周知・普及の協力依頼があった。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた業種別ガイドラインの再徹底について周知依頼が届いた。

総務省より、

- ・令和3年経済センサス-活動調査および企業構造の事前確認について周知依頼が届いた。

ハ. JATET ニュースについて

資料なし

- ・JATET ニュース第218号 (令和2年6月5日配信)
令和2年度通常総会開催報告、会員会費納付期限延長について、新型コロナウイルス感染防止のための安全手帳
- ・JATET ニュース第219号 (令和2年8月6日配信)
JATET誌87&88合併号広告掲載募集中、夏季休暇のお知らせ、会員会費納付期限延長について

ニ. 会員情報

閲覧資料-会員情報

- ・賛助会員 A ボーズ合同会社 退会 (審議事項)
 - ・賛助会員 B 斎藤義氏 退会 (審議事項)
 - ・今岡隆氏 賛助会員 B 入会 (審議事項)
 - ・正会員 A 東芝ライテック株式会社 秋田貴洋氏 広報部会 入部 (審議事項)
 - ・正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 岡田良之氏 広報部会 入部 (審議事項)
 - ・正会員 A 東芝ライテック株式会社 茅野邦宏氏 照明部会 入部 (審議事項)
 - ・正会員 A 森平舞台機構株式会社 長原邦彦氏 機構部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 A 東芝ライテック株式会社 奥村浩平氏 広報部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 近藤正親氏 広報部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 A 東芝ライテック株式会社 中澤浩一氏 照明部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 A 東芝ライテック株式会社 中島修氏 照明部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 A 株式会社東京舞台照明 青野時彦氏 照明部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 A ヒビノアークス株式会社 片山一宮氏 教育研修部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 B 株式会社石本建築事務所 能勢修治氏 建築部会 入部 (審議事項)
 - ・正会員 B 株式会社石本建築事務所 南知之氏 建築部会 退部 (審議事項)
 - ・賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 太田繁男氏 機構部会入部 (審議事項)
 - ・賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 辻村聡之氏 照明部会入部 (審議事項)
 - ・賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 寺川浩史氏 音響部会入部 (審議事項)
 - ・賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 川手克文氏 音響部会入部 (審議事項)
 - ・賛助会員 A ボーズ合同会社 井戸覚道氏 音響部会 退部 (審議事項)
 - ・賛助会員 A ボーズ合同会社 岡本大輔氏 音響部会 退部 (審議事項)
 - ・正会員 A 株式会社NHKアート 会員登録内容変更
 - ・正会員 A ヒビノアークス株式会社 会員登録内容変更
- ⇒ヒビノスペーステック株式会社に社名変更
- ・賛助会員 A 株式会社オーディオブレインズ 会員登録内容変更

東芝ライテック株式会社、三精テクノロジーズ株式会社、株式会社東京舞台照明より
役員就任のお知らせが届いた。

ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

- ・芸団協からの「持続化給付金」等に関する情報を閲覧した。
- ・公文協からの「劇場・音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等に関する情報を閲覧した。
- ・特別非営利活動法人世界劇場会議名古屋より、第 50 回定例理事会にて「世界劇場会議名古屋フォーラム 2020」の後援名義使用許可について承認を得ていたが、新型コロナウイルスの影響により開催日程が 2020 年 6 月 12 日から 2020 年 11 月 16 日に変更になったとのお知らせが届いた。
- ・Inter BEE2020 開催概要および協力名義使用許可のお願いが届いた。(審議事項)
- ・世田谷パブリックシアターより 8 月 25 日～8 月 28 日開催「Technical Theatre Training Program」舞台技術講座の案内が届いた。
- ・全国公立文化施設協会から、全国公立文化施設名簿への協賛広告ご出稿のお願い書面が届いた。
- ・日本照明家協会、日本建築学会、東舞トータルサービス、俳優座劇場の役員選任に関するお知らせが届いている。
- ・京都子ども文化会館の閉館のお知らせが届いている。今年 11 月末閉館。

芸団協メールニュース：5/15(416号)、6/1(417号)、6/15(418号)、7/1(419号)、7/9(臨時号)、7/15(420号)、7/17(臨時号)、7/22(臨時号)、8/3(421号)、8/17(422号)

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」5/15(105号)、5/25(臨時号)、6/1(臨時号)、6/15(106号)、7/15(107号)、8/14(108号)

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。(日本照明家協会誌、電気設備学会誌、公益法人・Stage Sound Journal 他)

へ. 書籍販売状況

閲覧資料-書籍販売状況

規格販売状況 (別紙資料参照)

- ・「吊物機構安全指針・同解説」、「床機構安全指針・同解説」、「劇場演出空間用照明設備更新のためのガイドライン」、「プロオーディオ音響技術 CD」、「音響設備動作特性の測定方法」等が売れている。合計 138,500 円。

ト. 請求書情報

閲覧資料-請求書情報

かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、ゼロックス、アスクル、古川商事、テトラロジックスタジオ (WEB サイト更新料、JATET ニュース配信料) などの請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

閲覧資料-HP アクセス解析

- ・JATET ホームページのアクセス解析
…4 月～7 月の HP 閲覧状況を資料に示したものを閲覧した。
4 月以降は新型コロナウイルス、特に 5 月末から音響部会の安全手帳等で閲覧が増加。

リ. 事務局関連

閲覧資料-事務局関連

- ・令和 2 年通常総会は、WEB 会議も取り入れ皆様のお蔭で無事終了した。
- ・協会けんぽからののお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・厚生労働省より「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金に係る周知啓発等への協力依頼が届いた。
- ・事務局勤務体制について、感染の状況に応じてテレワークを実施している。

- ・「緊急事態舞台芸術ネットワーク」については、賛同団体として申込を行なった。
- ・8月18日にJATET技術展2021について、森会長、青野副会長、中川専務理事で新国立劇場を訪問した。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。
「主な問い合わせ企業」
- ・5/28：金沢計画研究所…コンサートホールのフライタワの高さを低く抑えている事例について
- ・7/28：(公財)郡山市文化・学び振興公社…音響部会安全手帳に記載されているマイクの消毒方法について
- ・8/2：(株)東京音研…消毒に必要な薬剤・部材のアルコール濃度について

4. 審議事項

第1号議案 JATET フォーラム 2020 開催方式およびセミナーテーマの件 資料-2
 青野副会長より第1号議案 JATET フォーラム 2020 開催方式およびセミナーテーマについて説明があった。詳細は資料-2を参照。

まず、JATET フォーラム 2020 開催方式について説明した。

当初、JATET の活動を全国に広めることを目的として、東京、大阪の2つの会場での同時開催とし、パブリック・ビューイングや双方向のディスカッションが可能か議論したが、技術的・エネルギー的に難しいと言う判断になった。

従来、地方から出張してフォーラムに参加することが難しかった方々にも、東京で開催するフォーラムをライブまたは録画をインターネット配信し、全国の方々にも見てもらえることで、情報を提供できることからフォーラムの内容をライブ配信し、その上で録画編集した内容をオンデマンド配信する方向で検討を進めてきた。

実行委員会の中で、各部会からの意見を取りまとめた結果、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会場に観客を入れての開催は手指の消毒、体温チェック、マスク着用の確認などの感染予防対策を入念に行っても感染のリスクがあることから、無観客での開催が望ましいとの意見が大多数を占めている。無観客でライブ配信を行うかライブ配信も行わずにコンテンツとして制作し、収録した内容をオンデマンド配信するかを議論した結果、実行委員会ではライブ配信を行わずに、制作したコンテンツをオンデマンド配信する方向とする意見に集約された。

コンテンツ制作となると、プロデューサの選任と台本作りから、制作業者の選定と予算検討、コンテンツ制作場所や制作期間、完成後の作品を配信する日時などの検討を至急進めることが必要になる。

コンテンツ制作を行う場合は、予約している劇場を使用せずに収録スタジオなどでも制作が可能になるので、劇場をキャンセルする可能性がある。また、年内に行う必要も無くなり、例えば年度内にコンテンツ制作を完成させて、年度末あるいは新年度になってから、配信することも考えられる。

議案説明の後、審議に入り第1号議案 JATET フォーラム 2020 開催方式およびセミナーテーマの内、開催方式の件は、まず観客を入れるか入れないかについて、無観客での開催が全員一致で可決承認された後、LIVE配信は行わず、制作したコンテンツをオンデマンド配信する方法で行うことが全員一致で可決承認された。

続いて青野副会長より、第1号議案 JATET フォーラム 2020 開催方式およびセミナーテーマの内、各部会のセミナーテーマについて説明があった。

第 50 回定例理事会で、部会セミナーについて承認をいただいたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、部会テーマに変更がございますので、再度ご審議をお願いしたい。

全体テーマ及び各部会のセミナーテーマは、以下の通りで考えている。

テーマ：『演出空間における舞台技術の現状と展望』
～JATET30年の活動を踏まえ、10年後の劇場演出空間を模索する～
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための劇場演出空間技術面からの提言

セミナープログラム（案）

基調講演：JATETの30年と劇場演出空間の変遷

JATETの設立から30年に亘る活動について、技術の進歩に伴う劇場演出空間の変遷を交えて報告する。また、新型コロナウイルス感染症が世界中に与えた諸問題を踏まえ、劇場演出空間技術の面から今後の対応について提言する。

建築部会：新型コロナウイルス感染症に伴うガイドラインと建築の注意事項

新型コロナウイルス感染症に伴うさまざまなガイドラインの一元的な集約と違いの明確化、換気をはじめ建物に関する正しい知識を提供し今後の展望を探る

機構部会：保守時における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインと、未来へとつながる駆動部の歴史

機構部会の主な活動内容の紹介と保守時における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインの説明

次回未来型駆動部へつながる駆動部の歴史を紹介

照明部会：最新照明卓の機能と将来への展望

最新の機能を備えた各社の照明卓を説明するとともに、演出空間施設への納入事例を含めた今後の展望を探る

音響部会：舞台連絡設備の現状と将来への展望

舞台連絡設備指針改訂に向けてのアンケート調査報告に加え、舞台連絡設備を使用するさまざまな立場の方から意見を伺い、将来の展望を探る

映像部会：劇場・舞台映像の今後

コロナ禍の状況を受けて、今後の劇場からの情報発信とこれからの劇場の役割を考える上で必要となる映像設備やネットワーク技術について将来を展望する

議案説明の後、審議に入り、プレゼンターの人選はこれからであるが、なるべく複数で短時間ずつ分担するのが望ましい旨の意見があった。

審議の後、第1号議案 JATET フォーラム 2020 開催方式およびセミナーテーマの内、各部会のセミナーテーマについて全員一致で可決承認された。

第2号議案 JATET 部会参加申込、退部届承認の件

資料-3

中川専務理事より第2号議案 JATET 部会参加申込、退部届承認の件について説明があった。詳細は資料-3を参照。

従来は、継続部会委員全員が JATET 部会参加申込書を提出いただいていたが、今年4月1日から適用の「部会入部・退部手続き内規」により、継続される部会委員の方については部会参加申込書の提出は不要とした。

部会も正式機関となり、部会出席は必須条件になるので、申込書には法規、定款、規程の遵守と出席を誓約していただいている。

まず、教育研修部会の新規申込、退部の方を報告する。

教育研修部会の会員名簿を参照。

(新規申込者)

なし

(退部者)

正会員 A ヒビノアークス株式会社 片山 一宮 (かたやま かずみや) 氏は 8 月 31 日付で退職に伴い退部となるので、部会退部も 8 月末での退部となる。

建築部会の新規申込、退部の方を報告する。

建築部会の会員名簿を参照。

(新規申込者)

正会員 B 株式会社 石本建築事務所 能勢 修治 (のせ しゅうじ) 氏 入部

(退部者)

正会員 B 株式会社 石本建築事務所 南 知之 (みなみ ともゆき) 氏 退部

機構部会の新規申込、退部の方を報告する。

機構部会の会員名簿を参照。

(新規申込者)

賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 太田 繁男 (おおた しげお) 氏 入部

(退部者)

正会員 A 森平舞台機構株式会社 長原 邦彦 (ながはら くにひこ) 氏 退部

照明部会の新規申込、退部の方を報告する。

照明部会の会員名簿を参照。

(新規申込者)

正会員 A 東芝ライテック株式会社 茅野 邦宏 (ちの くにひろ) 氏 入部

賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 辻村 聡之 (つじむら としゆき) 氏

入部

(退部者)

正会員 A 東芝ライテック株式会社 中澤 浩一 (なかざわ こういち) 氏 退部

正会員 A 東芝ライテック株式会社 中島 修 (なかじま おさむ) 氏 退部

正会員 A 株式会社東京舞台照明 青野 時彦 (あおの ときひこ) 氏 退部

音響部会の新規申込、退部の方を報告する。

音響部会の会員名簿を参照。

(新規申込者)

賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 寺川 浩史 (てらかわ ひろし) 氏 入部

賛助会員 A 神戸国際ステージサービス株式会社 川手 克文 (かわて かつふみ) 氏 入部

(退部者)

賛助会員 A ボーズ合同会社 井戸 覚道 (いど かくどう) 氏 退部

賛助会員 A ボーズ合同会社 岡本 大輔 (おかもと だいすけ) 氏 退部

映像部会の新規申込、退部の方を報告する。

映像部会の会員名簿を参照。

(新規申込者)

なし

(退部者)

なし

広報部会の新規申込、退部の方を報告する。

広報部会の会員名簿を参照。

(新規申込者)

正会員 A 東芝ライテック株式会社 秋田 貴洋 (あきた たかひろ) 氏 入部

正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 岡田 良之 (おかだ よしゆき) 氏 入部

(退部者)

正会員 A 東芝ライテック株式会社 奥村 浩平 (おくむら こうへい) 氏 退部

正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 近藤 正親 (こんどう まさちか) 氏 退部

議案説明の後、審議に入り、今後 WEB 会議も増えて来るので、退部した会員でも希望者はオブザーバーとして参加する方法もとれるのではないかとの意見があった。

審議の後、第 2 号議案 JATET 部会参加申込、退部届承認の件について、各部会ごとに決議を行い、いずれも全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 賛助会員 A ボーズ合同会社 退会の件

資料-4

中川専務理事より第 3 号議案 賛助会員 A ボーズ合同会社 退会の件について説明があった。詳細は資料-4 を参照。

7 月 7 日付で退会届が届いており、令和 2 年 6 月 30 日付をもって当協会を退会したいとのこと。

コロナウイルス感染拡大防止の影響で、2 月より全社で在宅勤務となったため、前年度までに退会届が提出できず、また年会費を今年度の経費として承認されず支払いが難しい状況であるとのこと。

議案説明の後、審議に入り、審議の後、第 3 号議案 賛助会員 A ボーズ合同会社 退会の件について、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 賛助会員 B 斎藤 義 (さいとう ただし) 氏 退会の件

資料-5

中川専務理事より第 4 号議案 賛助会員 B 斎藤 義 (さいとう ただし) 氏 退会の件について説明があった。

詳細は資料-5 を参照。

今年度の会費は、お支払いいただいております、令和 3 年 3 月 31 日付をもって当協会を退会したいとのこと。

議案説明の後、審議に入り、審議の後、第 4 号議案 賛助会員 B 斎藤 義 (さいとう ただし) 氏 退会の件について、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 今岡 隆氏 賛助会員 B 入会の件

資料-6

中川専務理事より第 5 号議案 今岡 隆氏 賛助会員 B 入会の件について説明があった。詳細は資料-6 を参照。

前職は賛助会員 A 株式会社オーディオブレインズに在籍されており現在も音響部会委員として活動いただいている。昨年、オーディオブレインズを退職され、今後は個人会員として音響部会で活動されたいとのこと。

議案説明の後、審議に入り、審議の後、第 5 号議案 今岡 隆氏 賛助会員 B 入会の件について、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 Inter BEE 2020 協力名義使用許可について 資料-7
中川専務理事より第 6 号議案 Inter BEE 2020 協力名義使用許可について説明があった。
詳細は資料-7 を参照。

会期は 2020 年 11 月 18 日～20 日の 3 日間で開催方法はオンラインでの開催となる。
毎年、協力名義使用の許可を承諾しております。

議案説明の後、審議に入り、審議の後、第 6 号議案 Inter BEE 2020 協力名義使用許可について、全員一致で可決承認された。

その他

1) 第 53 回定例理事会開催日程（11 月）、第 54 回定例理事会開催日程（2 月）について

第 53 回定例理事会は、令和 2 年 11 月 27 日（金）14 時から開催予定
第 54 回定例理事会は、令和 3 年 2 月 26 日（金）14 時から開催予定
とする。



2) 閉会

15 時 22 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

令和2年8月28日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第52回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	欠席	印
監事（間瀬勝一）	欠席	印
議事録作成署名人（小川幹雄）	小川 幹雄	

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 監事（理事会への出席義務等）第百一条
第1項において、監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは意見を述べなければ
ならないとあるが、今回の理事会において監事全員が欠席となったため、監事の欠席理由を
明確に示すこととする。

欠席理由（尾澤監事）：私用ですが、妻の手術後定期検査のため病院に付添いにより
欠席させていたのを承知した。

欠席理由（間瀬監事）：業務運営に必要業務あり、欠席しては行けませんでした。

第 53 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 2 年 11 月 27 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第 53 回 定例理事会 議事録

日 時：令和 2 年 11 月 27 日 (金) 14:00～15:26

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3 - 8 - 6 第一古川ビル TEL : 03-5289-8858

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録作成署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | | |
|---------------|----------|------|
| 1) 業務報告 | 森健輔会長 | |
| 2) 事業報告 | 青野時彦副会長 | 資料-1 |
| 3) 財務報告 | 荻野均副会長 | |
| 4) 総務報告 | 永井烈副会長 | |
| 5) 国際協力報告 | 小川幹雄理事 | |
| 6) コンプライアンス報告 | 西豊彦理事 | |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事 | |
| 8) 事務局報告 | 中川堅司専務理事 | |
| 9) その他 | | |

4. 審議事項

- | | | |
|---------|--|------|
| 第 1 号議案 | 正会員 C 岡田 一雄氏 退会の件 | 資料-2 |
| 第 2 号議案 | 正会員 C 岡田 一雄氏 照明部会 退部の件 | 資料-3 |
| 第 3 号議案 | 令和 3 年度総会開催及び総会の方法、日時場所の決定について | 資料なし |
| 第 4 号議案 | 来年度の JATET 誌 (89 号・90 号) について (発行部数・予算・担当) | 資料-4 |
| 第 5 号議案 | ライティング・フェア 2021 協賛名義使用申請について | 資料-5 |
| 第 6 号議案 | JATET 30 周年記念品について | 資料-6 |
| 第 7 号議案 | JATET 誌 84 号～最新号(87&88)の HP 上への公開について | 資料-7 |

5. その他

- 1) 第 55 回定例理事会開催日程 (4 月) について
- 2) 閉会

開会 : 開会の辞 中川専務理事

出席理事: 森健輔会長
青野時彦副会長 (事業担当)
荻野均副会長 (財務担当)
永井烈副会長 (総務担当)
小川幹雄理事 (国際渉外担当)
西豊彦理事 (コンプライアンス担当)
中川堅司専務理事 (事務局統括、国内渉外担当、規程改訂作業部会担当)

Web出席理事: 伊東邦比古理事、西村岩夫理事、宮丸正人理事、嶺山征雄理事

欠席理事: 伊東正示理事、長谷川祥久理事

出席監事: 間瀬勝一監事

Web出席監事: 尾澤輝行監事

有効理事総数 13名、出席理事 11名、欠席理事 2名
出席率 84.6%

定足数確認: 有効理事総数 13名中、11名の出席にて
本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

1. 議長選出

定款第42条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録作成署名人選出

定款第46条(議事録)の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が西村岩夫理事を指名し、同理事はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長

下記の通り、第52回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和2年9月15日(火)	14:00~	第52回事業執行連絡委員会
令和2年10月14日(水)	14:00~	第53回事業執行連絡委員会
令和2年11月12日(木)	14:00~	第54回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

青野時彦副会長 (事業報告資料、資料-1、各部会資料)

教育研修部会では、

- ・「山形県総合文化芸術館」見学会の開催方法については、会館よりリモート見学会ではなくリアルで開催してほしいと意見があった。今後開催時期・方法について打ち合わせをして進めていく。
- ・「高崎文化芸術館」「御園座」「渋谷公会堂」「豊島芸術文化会館」「柳川市民会館」は次年度開催になる予定である。
- ・JATET ジャーナルによる施設紹介候補の「観音寺市民会館」「阿久根市民交流センター」「竹田市総合文化ホール」「鹿角市文化の杜交流館」「鶴岡市文化会館」はコロナの影響で作業が遅れているが、順次進めていく予定である。
- ・ヒビノスペーステック(株)の会員の方が退部されたことを受け、後任者を検討していただくよう依頼済み。同様にKYB ステージエンジニアリングの部会入部を依頼していく。

建築部会では、

- ・ JATET フォーラム 2020/21 セミナーについて議論した。新型コロナウイルス感染拡大によって配信などが盛んになり、劇場の役割とは今後どうなっていくのか、劇場の良さとはどのようなものなのかを見直しアピールする内容としていく。

機構部会では、

- ・ ワイヤロープ劣化診断について、まとめ及び発表方法について協議した。
- ・ コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインについて協議した。

照明部会では、

- ・ JATET フォーラム 2020/21 における今後の作業日程を確認し、12月初旬にまとめられるよう進めている。
- ・ 演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会は、今年度は休会とする。

音響部会では、

- ・ 部会委員の所属会社名変更に伴い、部会委員名簿を更新した。
- ・ 舞台連絡設備アンケート集計結果のとりまとめについて協議した。また、JATET フォーラム 2020/21 部会セミナーコンテンツの制作について協議して構成を検討した。

映像部会では、

- ・ JATET フォーラム 2020/21 のセミナーテーマについて、NHK ホールをテーマにした劇場音響映像設備の技術革新として将来的にどのように変化するのか。スマートシティ構想の中で劇場がどのように考えられているのか協議し、取材後まとめる方向で進めている。

広報部会では、

- ・ リーフレット改訂について協議した。
- ・ コロナに対する支援の中で、家賃補助を申請しようとした舞台の音響担当者や、舞台監督他が、職業を記入する際、該当する産業分類がない。技術部門例えば、大道具を貸す職業もないし、照明もなく、舞台関連が一式ない状態であり、行政庁に対して、JATET として職能の確立を働きかける必要性について議論した。

イ. JATET フォーラム 2020/21 について

- ・ 令和2年9月23日（水）14:00～第9回 JATET フォーラム 2020 実行委員会を開催した。
- ・ 令和2年10月21日（水）14:00～第10回 JATET フォーラム 2020 実行委員会を開催した。
- ・ 令和2年11月18日（水）14:00～第11回 JATET フォーラム 2020/21 実行委員会を開催した。
- ・ 8月28日開催の第52回定例理事会で、フォーラムの開催方式について審議いただき、セミナープログラムを番組コンテンツとして制作したものをオンデマンド配信する方法で行うことが承認されている。また、フォーラムの全体テーマとセミナープログラムの案についても併せて承認されている。
- ・ 共催、協力、後援依頼について、全13団体から承認の連絡は届いているが、定例理事会の決議により、開催方法及び部会セミナーテーマの変更について、再度各団体に書面を送付した。
- ・ 前回の理事会以降、実行委員会での審議の結果、一部内容に変更が出ているので報告する。まず開催方式は、セミナープログラムを番組コンテンツとして今年度中に制作し、コンテンツ視聴参加費をお支払いいただいた方に、年度内2021年3月末頃から来年度初めまでにはインターネット配信できるよう進めている。また、来年度にかけての準備、開催となるのでタイトルを「JATET フォーラム 2020/21」として進める。

続いて、セミナーテーマについて報告する。

基調講演・・・「JATETの30年と劇場演出空間の変遷」

建築部会・・・「新型コロナで劇場の未来は変わるのか？」

機構部会・・・「保守時における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインと、未来へとつながる駆動部の歴史」

照明部会・・・「最新照明卓の機能と将来への展望」

音響部会・・・「舞台連絡設備の現状と将来への展望」

映像部会・・・「劇場・舞台映像の今後」

以上がセミナーテーマとなり、今後は年内を目処に各部会台本を作成し全体の構成をまとめていく。

- ・基調講演・講師依頼については、西理事から対談企画案をご提案いただき、どなたに講師を打診するか進めていく。
- ・当初予定会場であった渋谷区文化総合センター大和田、及び懇親会会場はキャンセルの手続きを済ませた。
- ・YouTubeチャンネルでJATETのPR動画を含めた簡単な予告動画を制作し配信する予定。
- ・オンデマンド配信は、JATETでも初めての試みであり、より多くの方に視聴いただくため有料視聴が、可能なプラットフォームを把握する目的で、配信アンケートを公立文化施設協会のメールマガジンに掲載したが、結果としては、ほとんど回答はいただけなかった。

ロ. JATET誌87&88号（合併号）について

- ・広告掲載申込は、20社からの申込があった。

ハ. JATET 劇場演出空間技術展 2021 について

- ・来年度予定している技術展について、当初、新国立劇場に予約を申し込み、劇場より11/17, 18, 19の3日間で如何かと連絡があったが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まるか現時点では予測が出来ない状態であり、フォーラム実行委員会でも来年度の技術展開催は難しいという意見が多く、今回は延期という判断で来年の劇場の借用を断念し、今後の理事会で来年度以降の技術展についてどこで、いつ開催するのか議題に挙げて審議をお願いしたいと考えている。

3) 財務報告

荻野均副会長（閲覧資料一なし）

- ・毎月、荻野副会長、永井副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題なし。
- ・JATET フォーラム 2020/21 のセミナー会場として使用する予定であった渋谷区文化総合センター大和田は開催方式がオンデマンド配信となるため会場使用キャンセルに伴い、使用料は全額還付されている。

4) 総務報告

総務担当 永井烈副会長（閲覧資料一事務局関連・請求書等）

事務局関連及び請求書等の資料があるので閲覧する。総務報告は以上。

5) 国際協力報告

国際渉外担当 小川幹雄理事（閲覧資料なし）

- ・OISTAT 日本センターでは、9月にOISTAT ニュースの第20号を発行した。コロナ禍の中で世界中の芸術家たちが苦闘している。その方達に向けて本部会長のパート・ディターマン氏と日本センター会長の高田一郎氏のメッセージを掲載した。OISTATの活動も本部を中心に各部会やセミナーなど全てをオンラインで継続しているのが現状。会長任期が今年で

終わるので、1月8日までに次の任期（2021年から2025年）の会長立候補締切となっている。日本センターの方でも今年度は総会を開くことが出来ていないので、近々に書面決議による総会が出来るよう変更する。

- 6) コンプライアンス報告 西豊彦理事（閲覧資料なし）
・報告事項なし
- 7) 規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事（閲覧資料なし）
・報告事項なし
- 8) 事務局報告 中川堅司専務理事
イ. 内閣府情報 閲覧資料-内閣府情報
- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第104号（令和2年9月2日発行）、第105号（令和2年9月16日発行）、第106号（令和2年9月30日発行）、第107号（令和2年10月14日）、第108号（令和2年10月28日）、第109号（令和2年11月11日）を閲覧した。
 - ・公益法人運営のワンポイントアドバイス、相談会開催のお知らせなどが主な内容だが、第109号では、立入検査における主な指摘事項についてのアドバイスが掲載されている。内閣府では、年に600～700程度の立入検査を実施しているが、指摘事項が多い項目を並べると、1. 規定の未整備、2. 現預金、印鑑、金庫の管理不十分、3. 会計処理が不適切、4. 備え置き資料なし、5. 議事録の不備となっており、これら上位5項目で指摘事項全体の約半数を占めているとのこと。当協会でもこれらの管理については十分に注意していきたい。
- ロ. 経済産業省情報&総務省 閲覧資料-経済産業省情報&総務省
経済産業省コンテンツ産業課より、
- ・「令和2年5月15日から7月31日までの間の豪雨による災害により影響を受けている下請中小企業との取引に関する配慮について」通達が届いた。
 - ・デジタル経営改革のための評価指標「DX推進指標」の周知及び自己診断結果の報告について案内が届いた。
 - ・コロナ禍の中、9月19日以降における催物の開催制限についてお知らせが届いた。
 - ・サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム入会申込の案内が届いた。
 - ・海外渡航者新型コロナウイルス検査センターの本格稼働についてお知らせが届いた。
 - ・催物の主催者が存在しない行事における感染防止策の徹底についてお知らせが届いた。添付資料として、年末年始に関する新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府への提言、「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」が示された。
 - ・「地方拠点強化税制」1と「企業版ふるさと納税」についてお知らせが届いた。
 - ・11月9日には、大規模イベントに係るクラスター対策についての留意事項が示された。
- ハ. JATET ニュースについて 資料なし
- ・JATET ニュース第220号（令和2年10月1日配信）
JATET 誌87&88 合併号 広告掲載募集、JATET フォーラム2020の開催形式、会員会費納付期限延長について
- ニ. 会員情報 閲覧資料-会員情報
- ・正会員 A ヒビノスペーステック(株) 登録内容変更
10月1日付で「ヒビノアークス(株) からヒビノスペーステック(株)」に社名変更及び本社移転のお知らせが届いた。
 - ・正会員 A (株)NHK アート登録内容変更

11月1日付でホール運営事業部移転のお知らせが届いた。

- ・正会員 C 岡田 一雄氏 退会（審議事項）
- ・正会員 C 岡田 一雄氏 照明部会 退部（審議事項）
- ・賛助会員 B 田中 伊都名氏 登録内容変更

ヒビノ(株)より事業所移転のお知らせが届いた。

ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

- ・「ライティング・フェア 2021 協賛名義使用申請」が届いた。後ほど審議に諮る。
- ・「レジャー&アウトドアジャパン 2020 への後援名義承認申請」が届いたが、開催時期が11月であり理事会審議では間に合わないため、執行理事同意の上、承認許可の連絡をしている。
- ・(公財) ニッセイ文化振興財団より、「日生劇場 第27回舞台フォーラム 2020 後援名義使用申請」が届いたが、実施日が11月11日であり本日の理事会審議では間に合わないため執行理事に確認の上、承認許可の連絡をしている。
- ・第26回「ニッセイ・バックステージ賞」受賞者決定のお知らせが届いている。オペラ制作・字幕監修の杉理一(スギ・ノリカズ)氏。特殊小道具製作の田中義彦(タナカ・ヨシヒコ)氏が受賞された。
- ・OISTAT 日本センターから、OISTAT News VOL. 20 の案内が届いた。日本センターの高田一郎会長の「コロナ禍 その先へ」、本部会長バート・ディターマン氏から「世界的な疫病流行の時にあたり会長よりのメッセージ」が示されている。
- ・(公社) 全国公立文化施設協会より、令和3年度定時総会・研究大会【栃木大会】の案内が届いている。
- ・芸団協メールニュース: 9/1 (423号)、9/2 (臨時号)、9/15 (424号)、10/1 (425号)、10/15 (426号)、10/20 (臨時号) 11/2 (427号)、11/6 (臨時号)
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」: 9/15 (109号)、10/15 (110号)、10/20 (臨時号)、10/23 (臨時号)
- ・その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧する。
(電気設備学会誌・公益法人・Stage Sound Journal 他)

へ. 書籍販売状況

閲覧資料-書籍販売状況

規格販売状況 (別紙資料参照)

- ・「吊物機構安全指針・同解説」、「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」「プロオーディオ音響技術CD」「床機構安全指針・同解説」等が売れている。
- 4月~10月までの売上合計 277,000円。

ト. 請求書情報

閲覧資料-請求書情報

かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、ゼロックス、アスクル、古川商事、テトラロジックスタジオなどの請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

閲覧資料-HP アクセス解析

- ・JATET ホームページのアクセス解析として、8月~10月までのHP 閲覧状況を資料に示したものを閲覧した。
- JATET ニュース発行後に閲覧が増える傾向にある。

リ. 事務局関連

閲覧資料-事務局関連

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
- ・日本年金機構から「電子申請に関するリーフレット」が届いた。

- ・コロナにより WEB 会議が増え、事務局でも部会での使用状況を踏まえて今後は Teams を導入していく予定。
- ・JATET ではクレジットカードを作成していなかったが、今後のオンライン決済や会議システムの支払いなどで必要となるため、法人カード（ライフカード）を作成した。
- ・JATET 創立 30 周年記念としてボールペンを記念品として検討している。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 正会員 C 岡田 一雄氏 退会の件 資料-2

中川専務理事より第 1 号議案について説明があった。詳細は資料-2 を参照。

9 月 16 日付で退会届が届いており、令和 2 年 9 月 25 日付をもって当協会を退会したいとの意思。会費の支払いについては、コロナの影響で仕事が滞り、非常に難しい状況とのこと。

議案説明の後、審議に入り第 1 号議案 正会員 C 岡田 一雄氏 退会の件について、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 正会員 C 岡田 一雄氏 照明部会 退部の件 資料-3

中川専務理事より第 2 号議案について説明があった。詳細は資料-3 を参照。

正会員 C 岡田 一雄氏は、JATET 退会とともに照明部会を退部したいとの意思。

議案説明の後、審議に入り第 2 号議案 正会員 C 岡田 一雄氏 照明部会 退部の件について、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 令和 3 年度総会開催及び総会の方法、日時場所の決定について 資料なし

中川専務理事より第 3 号議案 令和 3 年度総会開催及び総会の方法、日時場所の決定について説明があった。

定款第 16 条の定めにより、「通常社員総会は、毎年 1 回毎事業年度終了後 3 箇月以内に開催する。」とある。また、定款第 16 条と同内容が、社員総会運営規則第 3 条（開催）に定められている。

内閣府からは、総会の「開催」そのものを決議したという記述で報告すること、総会を招集することを決議した後に、総会の日時及び場所、社員総会の目的である事項、その他の法で定められた事項を定めなければならないと指導されている。まずは、例年のごとく通常総会の開催について審議に諮る。

議案説明の後、審議に入り第 3 号議案 令和 3 年度総会の開催について、全員一致で可決承認された。

次に中川専務理事より第 3 号議案の後半、令和 3 年度総会の方法並びに日時場所の決定について説明があった。

例年、新宿ローズガーデンホテルを利用しており 10 月ぐらいにホテル側へ 5 月第 4 週の空き状況を確認し、11 月の理事会で総会の開催及び場所、日時を決定していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が続いている状況、且つその収束が見えない中で、ホテルを利用し、大人数で集まるのは危険な状態であると考ええる。来年度の総会開催時期は、まだ半年以上先のことであるが、その頃にコロナ禍が終息しているかは誰にも予測できないと思われる。今年 5 月の総会で実施したように、書面総会の形での総会開催とする方法は如何かと考えている。

執行理事で直接来社できる方には、JATET 会議室に集まり、来社できない方は WEB 会議で

の参加、執行理事以外の会員の皆様には「欠席」で出欠届を提出し、議決権行使書により議決に加わって総会開催するのか、また日時場所について5月の第4週の日時で開催場所はJATET会議室でよいかどうかについて審議に諮る。

質問事項

西理事：5月の第4週というのは、5月の24日から28日ということか。

中川専務理事：5月の1日を第一週と数えると、正確には第5週になる。

議案説明の後、審議に入り第3号議案 令和3年度総会の方法について、今年度と同じく書面総会の方式とすることが全員一致で可決承認された。

中川専務理事より次年度総会開催が決定したので、続いて総会日時場所の審議に諮る。
5月の第5週だと5月24(月)、25(火)、26(水)、27(木)、28(金)が候補日となる。
開始時間は14時から開催場所はJATET会議室でいかがか。

質問事項

西村理事：月曜日は出来るだけ避けたい。

森会長：例年どおり週の中日の26日(水)では如何か。

議案説明の後、審議に入り第3号議案 令和3年度総会の日時場所について、下記のとおり全員一致で可決承認された。

日時：5月26日(水曜日)

場所：JATET会議室

第4号議案 来年度のJATET誌(89号・90号)について(発行部数・予算・担当) 資料-4
中川専務理事より第4号議案 来年度のJATET誌(89号・90号)について説明があった。
詳細は資料-4を参照。

①編集担当について

例年だと、JATET誌89号は夏頃、JATET誌90号は冬頃の発行となっている。来年度は、通常だとJATET劇場演出空間技術展の開催の年であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催については、現時点では見送る見込みである。もし技術展が開催であればJATET誌89号は技術展特集号として、技術展展示出展企業の広告掲載、技術書を兼ねて、持ち回り部会担当ではなく、技術展実行委員会が担当していたが、技術展の開催を見送ることになれば、持ち回り部会担当となる。

参考までに、JATET誌83号は照明部会、84号は音響部会、85号は技術展開催のため実行委員会、86号は映像部会、87&88号(合併号)はJATET30周年記念を特集し、フォーラム実行委員会と事務局主体で発行している。

来年度2号発行の場合は、JATET誌89号は持ち回りで機構部会が担当し、JATET誌90号は建築部会が編集担当となるがよろしいか。

編集テーマ等は、部会が担当となった場合、部会で方針(案)を取りまとめ、理事会にて審議、承認の運びとなる。

議案説明の後、審議に入り、第4号議案 来年度のJATET誌(89号・90号)編集担当について、下記のとおり全員一致で可決承認された。

JATET誌89号編集担当：機構部会

JATET誌90号編集担当：建築部会

引続き中川専務理事より第4号議案 来年度のJATET誌発行部数・予算について説明があ

った。詳細は資料-4を参照。

資料-4は、JATET誌89号の発行予算書としているが、通常、年に2号発行する場合の1号あたりの予算として計上している内容である。収入としては、広告掲載費として24社で税抜き4,890,000円、税込で5,379,000円となる。支出の部は、印刷費、編集費、配送料、執筆料、源泉徴収料を含めて250万円程度となるが、これに編集作業のアルバイト料その他必要経費を合算して支出額は3,395,371円ほどになる。収支は、広告収入マイナス支出合計で、1,983,629円、1号あたり約200万円となる計算。

次のページは、JATET誌発行配布数及び広告収入予測の一覧表となる。89号は、24社の広告掲載を獲得できたとして、正会員17社、賛助会員3社、非会員企業4社で広告収入は4,890,000円となり、配布部数は30部×24社で720部となる。広告主以外の配布先は、正会員、賛助会員、特別賛助会員の合計で243部、関連団体に84部、全国主要公文協加盟会館1,304館に原稿執筆者、事務局予備を含めて1,691部、総合計は2,411部となる。印刷部数は2,500部で考えている。90号も89号と全く同じ内容で考えている。

議案説明の後、審議に入り、第4号議案 来年度のJATET誌(89号・90号)発行部数、予算について、全員一致で可決承認された。

第5号議案 ライティング・フェア2021協賛名義使用申請について 資料-5

中川専務理事より第5号議案 ライティング・フェア2021協賛名義使用申請について説明があった。詳細は資料-5を参照。

来年3月9日～12日の会期で開催されるライティング・フェア2021の協賛名義使用許可について、申請書が届いている。第50回定例理事会で、一般社団法人日本照明工業会からのライティング・フェア2021への参画依頼について、参画することは既に承認されている。

議案説明の後、審議に入り、ライティング・フェア2021の協賛名義使用許可について、全員一致で可決承認された。

引続き中川専務理事より本件に関連する内容で、一般社団法人日本照明工業会からJATET会員企業からの出展とセミナーの開催をお願いしたいと要請があった件について説明。出展については、4月の第50回定例理事会の時にも検討をお願いされていたが、今の新型コロナウイルス感染が収まらない中で、照明各社も厳しい経営状況が続いており、出展を要請するのは難しいと伝えている。セミナーについては、JATETフォーラムのコンテンツ制作が3月までかかることから、照明分野でフォーラムと別テーマのセミナーを今から計画するのも難しい旨を伝えているが、会場でのリアルセミナーでなく、オンラインでのセミナーが出来ないか検討をお願いしたいとのこと。

セミナーコンテンツは年度末までに制作する予定であり、ライティング・フェアには間に合わない状況で、セミナーではないが、JATETの紹介を含めたフォーラムの告知ビデオを3月初旬までには制作する予定であり、これを流せる可能性はあると思われる。

反対意見がないので、JATETの紹介ビデオを流せるのであれば協力する方向で検討する。

第6号議案 JATET 30周年記念品について 資料-6

中川専務理事より第6号議案について説明があった。詳細は資料-6を参照。

記念品として、暗い場所でもペン先が光り、書けるボールペンを考えている。こちらのペンは来年2月に販売予定で、ボールペンにはJATETのロゴ、名前を入れる予定。配布本数は正会員Aが5本、正会員B・賛助A・特別会員3本、個人会員(正会員C・賛助B・12団体(共催・協力・後援名義依頼団体)1本、延べ297本を予定している。

質問事項

森会長：どの印刷ロゴが好評なのか。

中川専務理事：コストの関係もあり資料-6の①(A)が好評であった。

永井副会長：必要数297本に対し予備が3本となっているので、仮に本日以降に入会があった場合不足することになる。発注数量を350本ぐらいにした方が良いと思われる。

森会長：発注数量は350本で審議に諮ることとする。

議案説明の後、審議に入り、第6号議案 JATET 30周年記念品について、全員一致で可決承認された。

第7号議案 JATET誌84号～最新号(87&88)のHP上への公開について 資料-7

中川専務理事より第7号議案について説明があった。詳細は資料-7を参照。

HP上への公開はJATET誌を発行した後、理事会で許可を得た上でJATETホームページに掲載し、ダウンロードできるようにしている。現在、JATET誌83号まで公開しているの、84号～最新号(87&88)についてもホームページ上への公開の許可を伺いたい。

質問事項

西理事：部会が編集担当するJATET誌は技術的内容が多いので、早く公開してしまうと会員へのインセンティブを考え最新号は、少し公開を遅らせた方が良いと思う。今回は30周年記念で技術的内容があまりないので、今回に限ってすぐに公開して良いと考える。

中川専務理事：今回は30周年の記事がメインになると、JATETフォーラムの告知も兼ねているので、公開したいと考えている。

議案説明の後、審議に入り、第7号議案 JATET誌84号～最新号(87&88)のHP上への公開について、全員一致で可決承認された。

その他

1) 第55回定例理事会開催日程(4月)について

第55回定例理事会は、令和3年4月23日(金)14時から開催予定とする。





2) 閉会

15時26分 森会長が閉会を宣言して終了した。

令和2年11月27日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第53回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	
議事録作成署名人（西村岩夫）	西村岩夫	

第 54 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 3 年 2 月 2 6 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第54回 定例理事会 議事録 (正)

日 時 : 令和3年2月26日 (金) 14:00~15:33

場 所 : JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 古川ビル TEL : 03-5289-8858

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録作成署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1) 業務報告 | 森 健輔 会長 |
| 2) 事業報告 | 青野 時彦 副会長 |
| 3) 財務報告 | 荻野 均 副会長 (欠席)、(代理) 中川 堅司 専務理事 |
| 4) 総務報告 | 永井 烈 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 理事 |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 9) その他 | |

4. 審議事項

- | | | |
|--------|---|-------|
| 第1号議案 | 令和3年度事業計画の件 | 資料-2 |
| 第2号議案 | 令和3年度事業予算の件 | 資料-3 |
| 第3号議案 | 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件 | 資料なし |
| 第4号議案 | 令和3年度資金運用計画について | 資料-4 |
| 第5号議案 | JATET誌89号について | 資料-5 |
| 第6号議案 | 角 和志 (すみ かずゆき) 氏 正会員C入会の件 | 資料-6 |
| 第7号議案 | 正会員C 角 和志 (すみ かずゆき) 氏 照明部会入部の件 | 資料-7 |
| 第8号議案 | 正会員A ウシオライティング株式会社 会員種変更
(正会員A→賛助会員A) について | 資料-8 |
| 第9号議案 | 正会員C 近江 哲朗 氏 退会の件 | 資料-9 |
| 第10号議案 | 賛助会員B 奥畑 康夫 氏 退会の件 | 資料-10 |
| 第11号議案 | 賛助会員特別 NPO 法人劇場創造ネットワーク 退会の件 | 資料-11 |

5. その他

- 1) 第55回定例理事会開催日程 (4月) について
- 2) 閉会

開会 : 開会の辞 中川 堅司 専務理事

出席理事: 森 健輔 会長
青野 時彦 副会長 (事業担当)
永井 烈 副会長 (総務担当)
西 豊彦 理事 (コンプライアンス担当)
中川 堅司 専務理事 (事務局統括、国内渉外担当、規程改訂作業部会担当)
Web 出席理事: 小川 幹雄 理事、伊東 邦比古 理事、伊東 正示 理事、崎山 征雄 理事、
西村 岩夫 理事、宮丸 正人 理事
欠席理事: 荻野 均 副会長、長谷川 祥久 理事
出席監事: 間瀬 勝一 監事
Web 出席監事: 尾澤 輝行 監事

有効理事総数 13名、出席理事 11名、欠席理事 2名
出席率 84.6%

定足数確認: 有効理事総数 13名中、11名の出席にて
本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

1. 議長選出

定款第42条の規定により森 健輔 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第46条(議事録)の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が永井 烈 副会長を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告 森 健輔 会長 (資料-議事録)

下記の通り、第53回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和2年12月16日(水)	14:00~	第55回事業執行連絡委員会
令和3年1月15日(金)	14:00~	第56回事業執行連絡委員会
令和3年2月16日(火)	14:00~	第57回事業執行連絡委員会

2) 事業報告 青野 時彦 副会長 (事業報告資料、各部会資料、資料-1) 各部会の活動と次年度事業計画について、報告詳細については各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・「山形県総合文化芸術館」見学会は、今年度の開催を見送り、来年度コロナの状況を踏まえ実施予定とする。
- ・見学会開催候補5件についても、今年度の開催は見送りとし、JATET ジャーナルによる施設紹介も現状では見合わせとなっている。
- ・ヒビノスペースステック様及び KYB ステージエンジニアリング様の部会入部を依頼した。ヒビノスペースステック片山氏が職場復帰し、再入部の予定である。

<次年度事業計画>

- ・部会を原則月1回開催し、新設、改修された劇場、施設の情報収集する。
- ・新設、改修された劇場、施設に対し、施設見学会を年3回を目標に開催する。
施設見学会候補施設は、「山形県総合文化芸術館」「柳川市民文化会館」「高崎芸術劇

場」を予定している。

- ・見学会が開催された劇場、施設を JATET ジャーナルで紹介し、最新の劇場技術、リニューアルの実例等を全国に無料にて提供していく。
- ・スタジオ、仮設劇場、制作場など劇場以外の新たな見学先を模索する。建築、設備の見学だけでなく、一般には公開されない施設を見学することで、設計事務所やゼネコンの方たちの新たな設計、施工への発想を促し、新しい劇場、演出空間の建設に役立てる。

建築部会では、

- ・JATET フォーラム 2020/21 セミナー内容について意見を集め、空調、運営、客席椅子の項目で情報を整理する。
- ・セミナー内容は、空調設備の特徴、概要、コロナ禍の中での昭和音楽大学におけるオペラ上演の動画再生、客席における飛沫の滞留シュミレーション紹介、東広島市芸術文化ホールくららにおけるホール内の空調実験紹介、客席及び座席におけるコロナ感染対応紹介、コロナ禍で見えてきた劇場・ホールのあり方などとしている。

<次年度事業計画>

- ・部会を原則月 1 回開催し、次に掲げる調査研究を実施していく。
- ・大規模災害を乗り越えて文化施設はどうあるべきか
我が国では、これまで大震災や豪雨等の自然災害、また現在は新型コロナウイルスの蔓延といった災害に見舞われている。
こうした災害により、劇場・ホールを含む文化施設も被害を受け、その後の劇場・ホール計画にも少なからず影響を与えてきた。
次年度は、過去の災害がその後の劇場・ホールの計画に与えた影響を振り返るとともに、それらを乗り越えて、今後劇場・ホールを含む文化施設がどのようにあるべきか調査研究する。

機構部会では、

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン及び各研究会の進捗状況について報告を行った。
- ・JATET 誌 89 号のテーマについても議論を行った。

<次年度事業計画>

- ・部会を月 1 回開催（3 月、8 月を除く）し、必要により研究会を行う。
- ・JATET 誌 89 号において編集を担当する。
- ・吊物機構安全指針の見直しを行う。
- ・吊物装置における各駆動方式等の調査、研究を行うとともに、未来の駆動部についても調査、研究を行う。
- ・その他の事業において機構分野の分担、協力をしていく。

照明部会では、

- ・ネットワークに関する資料を作成しており、今年度中にホームページに掲載する予定で進める。

<次年度事業計画>

- ・舞台照明において、ネットワークを使用した調光等のコントロールが増えている。これまでネットワークを使用した場合の資料が、あまり作成されてこなかった。現在、ほとんどの新設の施設はネットワークを使用しており、改めて舞台照明でのネットワークと DMX-512 に関する資料を作成し公開する。
- ・JATET-L-7190 の改正作業を行う。複数年度になる可能性があるが、規格の内容が現状に合っていない部分もあるため、見直しが必要である。ワーキンググループを作り、

作業を進める。

- ・照明器具の明るさや、照射エリアについての考え方の統一とともに、フィールド角やビーム角などの特殊な用語について定義を行い、ユーザーが照明器具を選択するときの情報をわかりやすく統一できるよう検討を進めていく。
- ・劇場演出照明は、LED 機材が増加し運用管理や設備設計の考え方が多様化しており、設備の安全確保と効率的運営の普及を目指した提言が求められている。
施設管理者と施設利用者が抱える困りごとの対策を研究し、舞台芸術の振興と科学技術の発展に寄与することが必要な時期と考え、「新築/改修施設の調査報告」「施設利用時における常設機材と持込機材の運用調査」「施設利用時における純直電源とネットワークの運用調査」について、特定の劇場・ホールをピックアップして運用内容を聞き取り調査を行うために研究会、またワーキンググループを立ち上げる。

音響部会では、

- ・舞台連絡設備アンケートのまとめ方について、JATET フォーラムのセミナーコンテンツの内容及び構成について協議した。
- ・日本音響家協会から 2 月 2 日の勉強会への協力及び 4 月発行の会報への記事執筆依頼があり、山下委員が 2 月 2 日に「音響電源 200V 化について」というテーマでセミナーを行った。
- ・舞台連絡設備の設置・運用状況に関するアンケート調査報告書を取りまとめた。
近日中にホームページで公開する予定である。

<次年度事業計画>

- ・電源電圧の違いによるパワーアンプ出力信号への影響についての調査研究
パワーアンプを 100V、200V 駆動した時の出力信号を計測し、その特性を評価する。
また、上記に加えスピーカからの拡声音について試聴により評価する。
- ・音響電源 200V 使用時に安全に運用できるコネクタについての調査研究
安全性、汎用性の高い電源コネクタを調査・選定し、劇場等演出空間用標準コネクタとして推奨していく。
- ・劇場等演出空間用音響設備の劣化診断・適正更新時期判定に関する調査研究
音響設備の劣化診断を実施するためのチェックリストを作成し、その結果をもとに適正な更新時期が判定できる基準を策定する。
- ・舞台連絡設備指針改定に向けた調査研究
アンケート調査結果及び JATET フォーラム 2020/21 セミナー・インタビュー等を踏まえ、舞台連絡設備指針改定作業を実施する。
- ・グラウンド（接地）及びインバーターに関連するノイズ対策についての調査研究
伝送におけるノイズ障害のメカニズムを明らかにし、保安と EMC のために必要な技術的知見を集積する。

映像部会では、

- ・NHK ホールを収録場所に予定していたが使用不可となった。
NHK ホールから、講師として参加することは問題ないが、緊急事態宣言が出たため、コロナが落ち着いた後、収録する予定となった。
- ・日建設計については、2 月 14 日（日）に映像センターで収録を終えている。

<次年度事業計画>

- ・月 1 回の部会及び研究会の開催を目標にし、関連情報の収集および会員への情報発信、他部門との相互連携を目標として活動する。
- ・デジタルトランスフォーメーションに対する劇場、演出空間の今後の取り組みや、「劇場設備の IP 化」により、劇場と外部空間を結ぶプラットフォームとして求められる機能等について調査研究を行う。

- ・オリンピックでのネットワーク技術の活用事例について、外部講師による研究会を開催し、最新情報の取得及び取り組むべき課題を議論し、映像部会から広く情報発信を目指す。

広報部会では、

- ・フォーラム 2020/21 が配信となった場合のアンケートの実施について提案した。
- ・今年度事業のリーフレット改訂と英文化について、英文化は進んでいないが更新については文章の改訂案を作成した。
- ・リーフレットは紙で作ったが、今後はホームページからダウンロードして、それぞれ印刷する形式にしていくことを考えている。

<次年度事業計画>

- ・部会を隔月 1 回開催する。
- ・JATET とその活動についての情報発信を図る。
JATET の持つ多くの劇場演出空間についての情報や人的資源を、広く社会のために資するための広報活動を展開し、社会のニーズを調査し、JATET とその活動範囲の拡大と活性化を図る。必要に応じて JATET リーフレットの改訂、英語版の作成を検討し、JATET 安全手帳の普及等へ協力する。
- ・JATET 全体での事業について、広報分野を担当し協力する。
JATET の重要な広報媒体である JATET 誌の編集に際して、その内容がより読みやすく且つ魅力的なものであるよう、編集担当部会に協力を行う。また JATET 主催行事の運営に協力する。

イ. JATET フォーラム 2020/21 について (資料-1)

- ・下記の通り JATET フォーラム 2020/21 実行委員会を開催した。
令和 2 年 12 月 18 日 (金) 14:00～ 第 12 回 JATET フォーラム 2020/21 実行委員会
令和 3 年 1 月 25 日 (月) 14:00～ 第 13 回 JATET フォーラム 2020/21 実行委員会
令和 3 年 2 月 22 日 (月) 14:00～ 第 14 回 JATET フォーラム 2020/21 実行委員会
- ・部会セミナーテーマについて、建築部会においてはリアルな上演を前提とする劇場、ホールの価値を見直すことに変更した。
- ・コンテンツ制作について、音響部会は 1 月 28～29 日に WEB 会議の形式で収録済み、映像部会の一部 (スマートシティについて) は 2 月 14 日に収録済み、基調講演は 3 月 4 日に世田谷パブリックシアターで収録予定となっている。
機構部会、照明部会については現在制作中で、3 月 10 日までを目標に完成する予定となっている。建築部会については編集を外部に依頼する関係で、2 月末までに一通りの収録を終わらせ、編集作業に入る予定となっている。
- ・基調講演は、せたがや文化財団様に共催いただくことになり、共催協定書を取り交わした。
- ・基調講演の講師は、佐藤信氏、桑谷哲男氏、斎藤義氏、市来邦比古氏、熊谷明人氏、進行役は西豊彦氏となっている。
- ・コンテンツの撮影、編集はアークベル(株)という業社に依頼することとなり、配信業社については現在検討中である。
- ・JATET YouTube チャンネル作成について、JATET 紹介、フォーラム 2020/21 セミナー告知動画を配信する予定となっており、現在編集中である。
配信の際には JATET 会員、関連団体の皆様にも情報をお伝えする。

ロ. JATET 誌について

- ・JATET 誌 87&88 号 (合併号) は、11 月 27 日に発行した。

ハ. JATET 誌 89 号 (夏号) について

- ・編集担当は機構部会となり、後ほど編集テーマについて審議を行う。

3) 財務報告

代理：中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-財務報告)

- ・毎月、荻野副会長、永井副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
- ・令和 2 年度の会費未納者は正会員 C の 2 名である。2 月 26 日期限で再々請求している。JATET 誌 87&88 号 (合併号) の広告掲載請求書を発行しており、2 月 26 日までの支払い期限に対し、1 社が未納となっている。

4) 総務報告

永井 烈 副会長 (閲覧資料-事務局関連・請求書等)

- ・JATET 創立 30 周年記念ボールペンを 350 本発注しており、納品され次第、会員の皆様及び関係各所へ発送する予定である。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 理事 (閲覧資料-国際協力報告)

- ・OISTAT 日本センターにおいて、昨年予定されていた総会はコロナの影響で延期となっている。2019 年度の活動報告、決算報告、監査報告及び 2020 年度の事業計画、予算を総会に代わる報告書として全会員に送付した。
- ・OISTAT 日本センター副会長の奥畑康夫氏が逝去された。
- ・OISTAT の本部とは賀詞交換を行っている。また韓国産業技術試験院 (KTL) とともに賀詞交歓を行った。
- ・アジアエンターテイメント安全協議会 (AES) の 2021 年の年次会議は、オンラインを予定している。
- ・OISTAT 本部より INVOICE が届き、年会費を送金した。
- ・現 OISTAT 会長ディターマン氏 (オランダ) の任期満了につき、2021 年内に改選が行われ、同時に理事全員も改選される事になる。
- ・会長選挙は当初、春先の予定だったが、10 月にオンラインで開催される国際会議において実施される予定である。会長には、ブラジルとドイツからの 2 名が立候補している。

6) コンプライアンス報告

コンプライアンス担当 西 豊彦 理事

- ・報告事項なし

7) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

- ・報告事項なし

8) 事務局報告

中川 堅司 専務理事

イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 110 号 (令和 2 年 11 月 25 日発行) を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 111 号 (令和 2 年 12 月 9 日発行) を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 112 号 (令和 2 年 12 月 23 日発行) を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 113 号 (令和 3 年 1 月 13 日発行) を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 114 号 (令和 3 年 1 月 27 日発行) を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 115 号 (令和 3 年 2 月 10 日発行) を閲覧
- ・マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進について協力依頼が届いた。

ロ. 経済産業省&総務省情報

閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より

- ・「下請け取引の適正化について」「イベント等における感染拡大防止ガイドライン遵守徹底に向けた取組強化等について」の書面が届いた。
- ・「マイナンバーカード関係」の協力依頼、年末年始における忘年会・新年会・成人式等及び帰省の留意事項について、「デジタルの日」に関する協力依頼、「平成 32 年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技会特別措置法の一部を改正する法律」の施行について、分科会提言を踏まえた催物の開催制限の取扱いについてお知らせが届いた。
- ・改正独占禁止法施行に伴い導入された新制度の経済団体等に向けての講師派遣についてお知らせが届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

- ・JATET ニュース第 221 号 を（令和 2 年 12 月 7 日配信）発行した。
掲載内容は、JATET 誌 87&88（合併号）の発行、JATET 誌 84 号～最新 87&88 号（合併号）の PDF データ公開、JATET フォーラム 2020/21（オンライン開催）の告知、令和 3 年度通常総会のお知らせ（2021 年 5 月 26 日（水）開催）、JATET 事務局年末年始休業のお知らせとなっている。

ニ. 会員情報

閲覧資料-会員情報

- | | | |
|---------|---------------------|---------------------|
| ・正会員 A | ウシオライティング ㈱ | 賛助会員 A に会員種変更（審議事項） |
| ・正会員 C | 角 和志 氏 | 入会（審議事項） |
| ・照明部会 | 角 和志 氏 | 入部（審議事項） |
| ・正会員 C | 近江 哲朗 氏 | 退会（審議事項） |
| ・賛助会員 B | 奥畑 康夫 氏 | 退会（審議事項） |
| ・賛助特別会員 | NPO 法人劇場創造ネットワーク | 退会（審議事項） |
| ・正会員 C | 桂川 潤次郎 氏 | 登録内容変更 |
| ・賛助会員 A | KYB ステージエンジニアリング(株) | 登録内容変更 |
| ・賛助会員 B | 澤村 厚志 氏 | 登録内容変更 |
| ・正会員 A | ウシオライティング ㈱ | 登録内容変更 |

ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

- ・全国公立文化施設協会から「会員名簿の訂正について」のお知らせが届いた。
- ・世田谷パブリックシアターから安全セミナーの案内が届いた。
- ・「世界劇場会議名古屋フォーラム 2020」後援名義使用事業実施報告書が届き、昨年 11 月 16 日に名古屋市公会堂大ホールにて実施し、237 名の入場者との報告であった。
- ・芸団協メールニュース 11/16(428 号)、11/25（臨時号）、12/1（429 号）、12/15（430 号）、1/5（431 号）、1/12（臨時号）、1/15（432 号）、1/19（臨時号）、2/1（433 号）、2/3（臨時号）が届いた。
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」11/13(111 号)、12/15（112 号）、1/12（臨時号）、1/15（113 号）が届いた。
- ・その他、協会誌、雑誌関係の資料（電気設備学会誌・公益法人・Stage Sound Journal 他）を閲覧した。

ヘ. 書籍販売状況

閲覧資料-書籍販売状況

- ・昨年 4 月から本年 1 月末までの総売上は 355,800 円となっている。
- ・主に「吊物機構安全指針・同解説」、「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」、「プロオーディオ音響技術 CD」、「床機構安全指針・同解説」等が売れている。

ト. 請求書情報

閲覧資料-請求書情報

- ・かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、ゼロックス、アスクール、古川商事、テトラロジックススタジオなどの請求書関連を閲覧した。

チ. ホームページについて

閲覧資料-ホームページ解析資料

- ・JATET ホームページのアクセス解析状況の資料を閲覧した。アクセス数は、11 月が約 2,600 件、12 月が約 2,800 件、1 月が約 2,400 件となっている。JATET ニュース発行後に閲覧が増える傾向になっている。

リ. 事務局関連

閲覧資料-事務局関連

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・令和 3 年度通常総会は、コロナ禍を考慮し今年度と同様に書面総会の予定をしている。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 令和 3 年度事業計画の件

資料-2

中川 堅司 専務理事より第 1 号議案 令和 3 年度事業計画について説明があった。

議案説明の後、審議に入り下記の指摘箇所を事務局にて確認を行い、訂正する事を前提とし、第 1 号議案 令和 3 年度事業計画の件は全員一致で可決承認された。

- ・教育研修部会の (2) において「です・ます調」を「ある・である調」に訂正する。
- ・建築部会の (2) において「暗いイメージ情報を発信する」を「受動的な取り組み」に訂正する。
- ・建築部会に (3) として、JATET 誌 90 号の編集を担当する事を追記する。
- ・機構部会の文末に句点「。」を付ける。
- ・映像部会の (3) 外部講師 (候補) : (空白) では意味不明なため、招聘やセミナー計画など意図が伝わるよう訂正する。

第 2 号議案 令和 3 年度事業予算の件

資料-3

中川 堅司 専務理事より第 2 号議案について説明があった。

経常増減の部の経常収益について、本年度は会員の増強を図るために輸入代理店などの新規会員、過去に退会された法人について再入会をお願いする計画だったが、コロナ禍の影響で勧誘することが出来なかった。来年度は改めて、正会員 B 1 社、正会員 C 1 名、賛助会員 A 2 社、賛助会員 B 2 名の新規会員獲得を目指したいと考えている。

事業収益は、今年度にコンテンツを制作して配信予定であった JATET フォーラム 2020/21 の配信が来年度になるため、視聴参加費収入として開催収益で 1,000,000 円 (1 プログラム 1,000 円×1,000 人) を見込んでいる。

その他は、発刊物販売収益で 400,000 円、施設見学会開催収益で 660,000 円、JATET 誌は 89 号、90 号の 2 号を発行し、広告収益は 40 社で 8,000,000 円を目標とし、経常収益計は 26,715,000 円を見込んでいる。

経常費用は、事業費で 22,433,000 円、管理費が 6,742,000 円となり、経常費用の合計が 29,175,000 円、収支はマイナス 2,460,000 円となる。

事業費の内訳は、主なものとして部会費が 1,400,000 円、JATET フォーラムのコンテンツ制作費の残りが 500,000 円、施設見学会費用が 1,123,000 円となっている。

JATET ジャーナル発行費は、施設見学会の開催に併せ 3 誌発行する予定で 450,000 円、福利厚生費、事務機、家賃、光熱費など管理費との割合分割分を含めた事業費合計は、22,433,000 円となる。

管理費は、例年とほとんど変わらず6,742,000円を見込み、経常費用合計は29,175,000円となる。

議案説明の後、審議に入り第2号議案 令和3年度事業予算の件は全員一致で可決承認された。

第3号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件 (資料なし)

中川 堅司 専務理事より第3号議案について説明があった。

定款では、(書面表決等)「第21条 社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。2 前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに提出しなければならない。3 第1項の場合における前2項の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。4 社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならない」とあるので、本理事会で審議に諮る。

議案説明の後、審議に入り第3号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件、全員一致で可決承認された。

第4号議案 令和3年度資金運用計画について 資料-4

荻野 均 副会長の代理として、中川 堅司 専務理事より第4号議案について説明があった。

令和3年度の資金運用方針は、例年通り当協会の現預金保有状況、令和3年度事業計画に鑑み、運用収益を積極的に求める運用は行わず、日々の入出金の確実な管理と資金の保全に重点を置いた資金運用とする。そのため、取引先の金融機関、三菱UFJ、みずほ、ゆうちょの3銀行の普通預金、定期預金での運用を原則とする。

2021年1月31日現在の現預金残高は、方針書に示した通りである。

残高合計は、13,925,863円となっている。

議案説明の後、審議に入り第4号議案 令和3年度資金運用計画について、全員一致で可決承認された。

第5号議案 JATET誌89号について 資料-5

中川 堅司 専務理事より第5号議案について説明があった。

議案説明の後、審議に入り下記の指摘事項を訂正する事を前提とし、第5号議案 JATET誌89号について、全員一致で可決承認された。

・制作時の苦労や反省点は内部留保すべき事項であるため、テーマから除外する。

第6号議案 正会員C角和志氏 入会の件 資料-6

中川 堅司 専務理事より第6号議案について説明があった。

議案説明の後、審議に入り第6号議案 正会員C角和志氏 入会の件、全員一致で可決承認された。

第7号議案 正会員C角和志氏 照明部会入部の件 資料-7

中川 堅司 専務理事より第7号議案について説明があった。

議案説明の後、審議に入り第7号議案 正会員C角和志氏 照明部会入部の件、全員一致で可決承認された。

第8号議案 正会員A ウシオライティング(株) 会員種変更の件 資料-8

中川 堅司 専務理事より第8号議案について説明があった。

コロナ禍の影響により厳しい状況が続いており、賛助会員 A への会員種を変更したいと要望があり、1 月 28 日付の会員種変更届が届いている。
議案説明の後、審議に入り第 8 号議案 ウシオライティング(株) 会員種変更の件、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 正会員 C 近江 哲朗 氏 退会の件 資料-9
中川 堅司 専務理事より第 9 号議案について説明があった。
永年、建築部会でご活躍いただき、令和 3 年 3 月 31 日付の退会届が届いている。
議案説明の後、審議に入り第 9 号議案 正会員 C 近江 哲朗 氏 退会の件について、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 賛助会員 B 奥畑 康夫 氏 退会の件について 資料-10
中川 堅司 専務理事より第 10 号議案について説明があった。
奥畑氏が代表取締役を務めていた(株)アート・ステージ・ライティング・グループより、新型コロナウイルスへの感染により逝去されたとの連絡が FAX で届いた。
通常、法人会員の方が逝去された場合、法人の方に死亡届を提出していただくが、奥畑氏は個人会員のため、FAX の書面を持って退会として手続きをして構わないか審議に諮る。
議案説明の後、審議に入り第 10 号議案 賛助会員 B 奥畑 康夫 氏 退会の件について、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 賛助会員特別 NPO 法人劇場創造ネットワーク 退会の件 資料-11
中川 専務 理事より第 11 号議案について説明があった。
登録代表者の桑谷 哲男 氏から本年度にて退会したいとの連絡があり、令和 3 年 2 月 10 日付の退会届が届いている。
議案説明の後、審議に入り第 11 号議案 賛助会員特別 NPO 法人劇場創造ネットワーク 退会の件について、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 55 回定例理事会開催日程について

第 55 回定例理事会は、令和 3 年 4 月 23 日（金）14 時から開催予定とする。




2) 閉会

15 時 33 分、森会長が閉会を宣言して終了した。

令和3年2月26日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第54回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	
議事録作成署名人（永井 烈）	永井 烈	